

# 福祉情報誌

編集／社会福祉法人AJU自立の家  
福祉情報誌発行委員会  
発行／AJU車いすセンター  
AJU自立生活情報センター  
連絡先／〒466-0015  
名古屋市昭和区御器所通3-12-1  
AJUリサイクル相談事業部内  
TEL (052) 851-0059  
FAX (052) 851-0159

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成13年2月13日(火)増刊 通刊4427号 AJU自立の家  
昭和54年8月10日 第三種郵便物許可  
発行所／東海身体障害者団体定期刊行物発行協会  
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

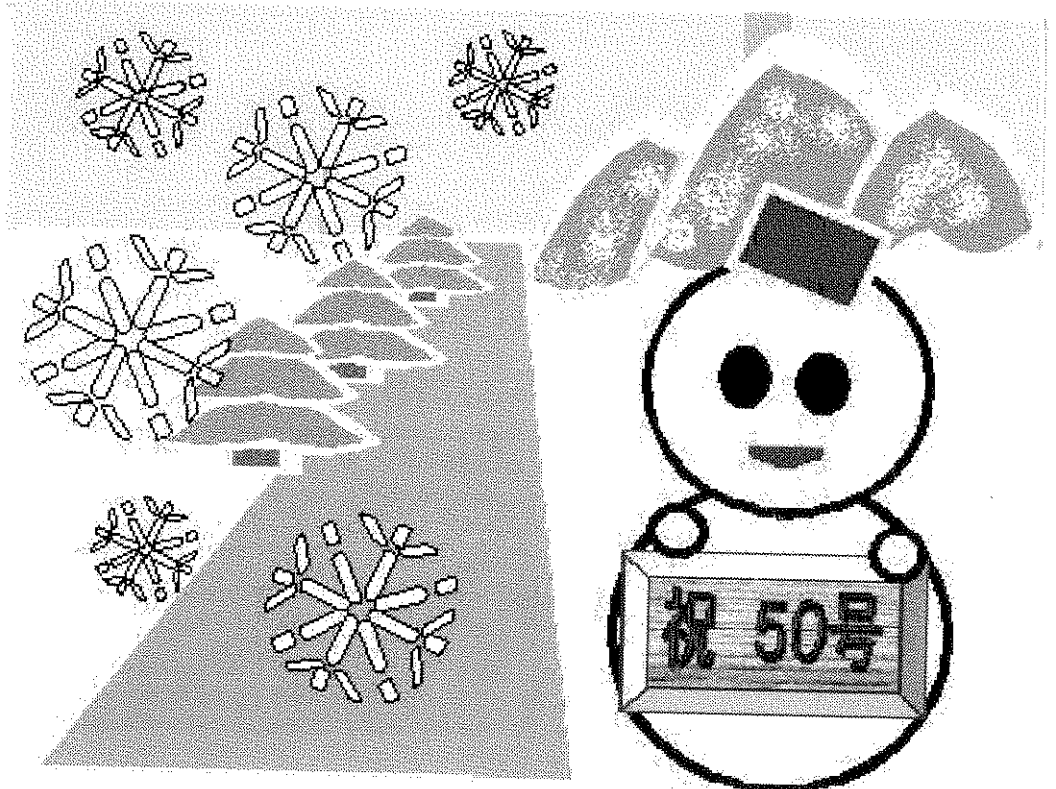
## AJU自立の家

### 第50号

2001年2月10日号

定価 **250円**

# テーマ 道 道 発見!



絵：森 みゆき

### はじめの一步をふみだしたあなたへ

- 50号記念座談会 ..... 1  
『情報誌のあゆみと未来』
- AJU福祉情報誌の歴史 ..... 7  
『準備号から49号まで』
- 特集 ..... 13  
『ユニバーサル・スタジオ・ジャパン  
オープン前情報』
- 読者のみなさんの  
『困りごと 第1弾』 ..... 17
- 災害時を考える ..... 20  
『東海豪雨を振り返る』
- 生活の道具相談室 ..... 24  
『部屋を使いやすい環境に整えよう!』
- 剋喜の詩のページ ..... 26
- リサイクル情報 ..... 27
- 読者の声 ..... 28
- いろいろ情報 ..... 30
- お宿情報とグルメな調査隊 ..... 34

# 50号記念座談会 『情報誌のあゆみと未来』 2001. 1. 6

司会：明けましておめでとうございます。

一同：おめでとうございます。



司会：福祉情報誌50号記念、そして、21世紀初めての座談会を始めます。この2つの記念すべき節目を迎え、情報誌とそれに関わる私たちの「あゆみ」と、情報誌のこれからについて話をしたいと思います。まず、みんながこの情報誌に関わるようになったきっかけとデビューした記事の話をしていきましょう。



司会：では、古くから関わっている人から順番にお願いします。克己さんですね。

克己：『おまかせ情報』担当の佐々木克己です。僕は、自立の家グループ(\*1)の各部署からひとりずつ編集委員になってこの情報誌を作ることが決まったとき、車いすセンターの代表としてかわり始めました。さっきいづみちゃんに「克己さん最初は福祉機器の担当だったんだよね？」と言われて思い出したんだけど、それはすぐに向いていないと思い、遊び中心の「おまかせ情報」担当になりました。原稿を書くのは得意ではなかったけれど、自分が遊んだ経験が情報になっていくので、こんなに長く関われたんだと思います。

司会：デビューした記事は何でしたか？

克己：福祉機器情報「スピードアップしましょ！」でトーキングエイドと電動車いすの使い勝手と申請方法の記事でした。今も一貫して変わっていないけれど、僕はとにかく障害を持っている人に「外にどんどん出て欲しい」と思っていて、そのためには、僕の経験から考えると「自分の好きなことから始めるのがいいかな？」と思い、遊びの情報を書いています。ただ、「こんな映画がおもしろいよ」だけでは経験のない人はなかなか出かけられないので、映画館までのアクセスや身障トイレの情報など、

細かいところまで目が行くようになってきました。最近では他の編集委員のチェックも厳しくて…、調べることが増えて大変かも（笑）

(\*1)自立の家グループとは、以下の団体の集まりです。

- 昭和48年に結成された重度障害者の集まり「愛知県重度障害者の生活をよくする会」（通称よくする会）
- 昭和50年に立ち上げた社会啓発を主な活動とする「車いすセンター」
- 昭和59年に仲間の要望の中から生まれた働く場「障害者通所授産施設わだちコンピュータハウス」
- 平成2年に開所した、地域で生活を始める前段階の生活の場「身体障害者福祉ホームサマリアハウス」
- 同年開所した、自分の障害やこれからの生活について考えていく場所「通所サービス事業サマリアハウスデイセンター」
- 平成5年にグループに加わったアルコール依存症の当事者グループ名古屋マック・ビートハウス
- 平成9年に自分の経験を生かして働きたいと始まった小規模作業所びあ名古屋（福祉機器の販売）開所
- 同年スタートした自立生活情報センター開所
- 平成11年に介護保険居宅介護支援事業者ほかっと軒開所



司会：じゃあ、次はKYONちゃん。

KYON：「福祉制度情報」担当の大谷京子です。私も、克己さんと同じで創刊号から関わっています。自立の家グループは障害を持っている人の集まりなので情報がいっぱいあるけれど、その情報を知らない人が世の中にはまだ多くて、情報を知らないが故に不便な生活をしていたり、家の中に一日中ずっといるという現状を踏まえ、「私たちが持っている情報をもっと外へ出していこうよ！」というグループ内での話し合いが創刊のきっかけでした。私も当時、サマリアハウスデイセンターの利用者で「60歳ではじめてお友達ができました」とか、「40歳ではじめて一人で買い物に行きました」という人に会い、一人で充分行動できる人達なのに情報がなかったせいで「初めての〇〇」が遅くなった事を実感していたので、「持っている情報をどんどん外に出していかないと、もったいない人生を送る人がいっぱいいる」と思い情報誌に関わり始めました。それに、障害を持っている人がどんどん外にでてくれたら世の中よくなって、自分の老後も安泰だと思って…自分のためにもやっています。デビュー作は、創刊号のガイドヘルパー制度を利用して

「病院へ行こう！」でした。



**司会：**次は編集長ですが、一番最後に話してもらおうとして、さつきさんかなあ？

**さつき：**「突撃体験レポート」の井上さつきです。私は大谷さんに誘われました。(そそのかされたんじゃないの？外野の声…)

**さつき：**文章を書くのが好きだったので、自分の経験や思いを他の人に知ってもらいたくて編集委員を始めました。その中でいろいろ面白いことを経験して、すごく自分自身にもいい経験をさせてもらったし、関わってよかったと思っています。

**KYON：**さつきさんが更生施設に入ってるときに“壁”という新聞を仲間と作っていて、情報誌がやっているような、例えば「身障スポセンに行って何が出来る？」みたいな体験レポートを書いていたのを知っていたので、さつきさんに会ったときに「一緒にやらない？」と声をかけました。

**さつき：**施設で「壁」を作ったときには、利用者からの反応があまり無くて「淋しいな」と思った。職員さんからは反応が返ってきて「ちょっと嬉しいな」と思っていたけれど、やっぱり利用者の反応の方がほしかった。情報誌は、読者の人が感想を送ってくれるので励みになります。



**司会：**次は池山だよな。

**池山：**「一緒にやろうよ」担当の池山ひろみです。私は、自分から「書きたい！」と言って仲間に入れてもらったの。それで「あなたは車が運転できて色々なところに行けるからレジャーをやって」と言われた。デビュー

作は自分もとても興味があった「乗馬体験」。色々なところへ行って、障害を持っているみんなに「こんなに楽しいんだよ」って言うことを伝えて、どんどん外へ出て欲しいなあと思っていました。

**司会：**編集委員の前は読者だったの？

**池山：**読者じゃなかった。たまたま自立の家に行ったらカウンターに情報誌がおいてあって、それを読んでやりたいと思った。それがきっかけ。



**司会：**次はいつみちゃんかな？

**いつみ：**「アクセス情報」担当の川口いつみです。私の場合は、母親が情報誌を購読していたので私も読んでいました。それで、すごく役に立つ情報がたくさん載っていたので、「こんな役に立つ情報を私も発信してみたい、どうやって作っているんだろう？」と気になって

いて、たまたま自立の家に行ったとき「私もこういう仕事かしてみたい」と言って編集会議に誘ってもらった。それから会議を見学したときにもう…編集委員になっていて(?!),「次いつ書きますか？」ってことになり、1ヶ月後にデビューが決まった。私がやりたかったのは「移動情報」。自分自身が車いすに乗っていてどこかへ行きたいと思っても、移動手段がないと行けない。例えば、バスや地下鉄は車いすでも乗れるのかどうかを知らないと利用ができないし、行きたいところがあってもそこまで行く方法を知らないと行けない。乗り物や介助の情報がないと、思いはあっても行けないという経験を私はして、そのつらさを実感していたので情報を集めたかった。私のデビュー作は、「リフト付タクシーを賢く使うには」。自分がタクシーを使うようになって、名古屋市のリフトカーは手動車いすではなかなか予約ができない状況で、「民間のタクシーを上手に使う方法はないのかなあ」と思っていたので調べて記事にしました。



**司会：**次は、でっちゃん。

**でっちゃん：**「表紙の絵」と「××の苦手なあなたへ」担当の森美由貴です。はじめは、ゆりさん(ゆりこのトラベルセンターの尾崎由利子)に「表紙の絵を描くのを変わって」と頼まれて、絵だけと思っていたら表紙の

レイアウトまでやることになっていた(笑)。そのうち「自分の困っていることを書いてみようかなあ」と原稿を書くようになりました。私は言語障害があるので、これからは自分にも役立つ言語障害のある人のための情報を集めていきたいと思っています。

**司会：**表紙の絵は、マウスを使って図形を組み合わせることでできていると聞いたんだけど？

**でっちゃん：**トラックボールを使って描いてる。丸とか四角とかの図形を組み合わせで書いていて、私にはそれ

しかできない。まる1日かけて書いています。直しが入るけれど…。



**司会：**次は平子君。

**ヒラコ：**「〇〇って何だろう？」担当の平子賢です。編集会議に参加を始めたのは、2年くらい前から。始めは記事は書かずに書記をしていた。それから、「自分ができる情報を伝えていきたい、今自分がしている仕事にも役に立つことがいいなあ」と考え、福祉業界って難しい言葉が多いから、それをわかりやすく伝えて行こうと思いこの企画が始まった。始めてみたら、ウケるときとウケないときがある。“読んでいる人は何を求めているんだろう？”といつも考えている。アンケートの結果などを参考にして、読者が求めているもの、読んでいて楽しい物を書いていきたい。

**池山：**情報誌のことはいつ知ったの？

**ヒラコ：**創刊号から知っているよ。「一緒に夢をかなえよう」のゴンちゃんは学校の同級生。

**池山：**そう、私はゴンちゃんの記事にひかれて編集委員になったんだ。ディスコやおかまパーに行ったり。「Tバックギャルに会いに行こう！」の企画には、大阪の読者の参加があったよね。



**司会：**次はどんちゃん。

**どんちゃん：**「そらいろ探郎団」担当の井上義英です。僕は、自立の家でボランティアを始めたときに情報誌をすすめられて読者になりました。編集委員をしている人の話を聞いて「面白いなあ」と思うようになって一度編集会議を訪ね、もうその時に「自分は建築が専門なので建築の記事を書きたい」と入れてもらいました。少し前から、ひとり暮らしをしている障害をもつ人の手伝いをしていて「こういう障害を持っていてもこういう工夫をすればいい」とか「ヘルパー制度を利用すればひとり暮らしもできるんだ」ってことを知り、それを伝えていきたいと思ったし、住宅改造の記事を書くことで自分の勉強にもなると思った。僕の記事の中から、自分にあったものやヒントなどを見つけてもらえたらなあと思っています。

**司会：**デビュー作は？

**どんちゃん：**「突撃体験レポートのさつきさん邸」

**ヒラコ：**自分の家じゃない！そういえば、どんちゃんとさつきさんが夫婦だって、誌面では特に発表してないよね（爆）

**一同：**そうだよなあ。じゃあ、50号記念で発表！！



**司会：**さて、次は新人の井上洋一さん。画期的でしたよね、療護施設に入ってる人が、しかも岐阜県の施設から通って来て編集委員として活躍し始めたのですから。

**洋一：**見学に行ったときに情報誌のことを教えてもらって、あんまり文章

は上手くはないんだけど、僕も書いたり、みんなで作っていくことが好きだったので、自分から入れて欲しいと頼みました。そのころはまだ岐阜県の療護施設にいたので、毎月名古屋へ出て来て編集会議に参加して、一泊して帰るってことを半年くらい続けました。それから、名古屋の福祉ホームに入居したので通うのが楽になった。僕が最初に書いた記事は、施設に入ってるときにいった一泊旅行の記事。そのときに「ただ、どこどこへ行って来たってことではなくて、その場所に行くためのアクセスとかホテルの料金とかも書かなきゃだめだ」と言われて、その時に初めて「情報を伝えることは自分が考えていたより難しいことだな」と思った。僕が情報誌をやっていた一番嬉しかったのは、昨年参加した「ジョンさんのツリークライミング」を体験できたこと。

**司会：**どうしてツリークライミングが一番楽しかったの？

**洋一：**小さい頃から、木に登るのが夢だった。（喜）



**司会：**最後は編集長の鬼頭さんから。

**鬼頭：**編集長の鬼頭義徳です。最初は編集長はいなかったんだよね。「自立の家グループの持っている情報を外に出そう！」ということで始まって、今は30ページ以上あるけれど、当時は「1ページでも2ページでもいいからとにかく情報を外に出そう」と言うことでやり始めた。それで、自分が編集長になったのは、たまたま車いすセンターで事務局をやっていた関係で入った…それ以来いるだけです（笑）。そして、いつの間にか編集後記を書く

ようになって、毎回、2、3ヶ月間考えて書くんだけれど…（笑）。文章を書くのは昔から苦手で、自分の役回りとしては、情報誌が順調に発行できるようにしていくことだと思ってやっております。

**司会：**さて、編集委員になったきっかけなどを話してきましたが、今度は、以前までは情報の受け手だったみんなが情報の発信者となってどうだったかということについて振り返りていきたいと思います。

**池山：**私は、“障害者＝何もできない人”という固定観念をどこかに持っていたんだけど、編集委員になっていろんな障害の人の話を聞いたりして、「できないことってないんだ」と言うのがわかってきて、自分の中で意識が変わっていった。それまでは、親や周りに「障害があるからダメだ」と思われていたと思う。だから、「障害者だからこれはできない」じゃなくて、「障害があってもしたいことをするのは普通だよ」ってことを、在宅にいる人や施設にいる人に情報誌を通して伝えていきたいと思った。今は、障害という固定観念を崩していきたいなあと思っている。

**いづみ：**情報誌に関わって、「障害を持っている人が偏見の目で見られたり、公平に扱ってもらえないというのは、障害を持つ人を見慣れていないからで、もっと私たちが外にでていかなければならないんだ」ってことを知った。近所に障害を持っている人が住んでいて、買い物に行ったりとか普通に生活していたら、障害を持っている人は特別な人ではなくて、近所の誰々さんとかお隣さんみたいな感じで自然につきあうことができるんじゃないかと思った。自分がそのためにすぐできることは、どんどん外にでて、バスや地下鉄を使ったり、お店にもどんどん行って、そこでいろんな人に声をかけたりすることで見慣れてもらうことかなあと思っている。また、いろいろな障害を持っている人の声を聞きたいと思って講座などにも出てみたいと思うようになった。

**司会：**初期の頃から情報誌を引っ張ってきたさつきさん、どうです？突撃取材とか、色々あったよね。「お見合い」も反響が多かったし。結婚もして、それも記事にしたし。

**さつき：**情報誌を通して自分の歩いてきた道がわかってからちょっと怖い（笑）。

**いづみ：**さつきさんの記事見ていると、さつきさんの人生ってかんじ…。

**さつき：**「舞妓さん」の記事が一番傑作かな。自分でも



笑える（笑）。

**KYON：**「かつらがポロリ」事件ね。一次原稿の読み合わせの途中でみんなて笑ったよね。

**でっちゃん：**私はあんまり変わってないなあ。池山さんがさっき言ってたように“障害者自身が障害者だ”って思い込んでることを元々いやだと思っていた。外へでて、講座とかサークルとか色々なところへ行って交流するのがあたりまえということ伝えていたいと思っている。「情報誌もその手段のひとつ」、という思いでやってきてます。だから、必要なデータをたくさん集めて、みんなの役に立てれば…。でも自分が一番役に立ってるのかも。提供するのが主ではなくて、自分も知りたいから調べていて役に立っているってかんじかな。

**克己：**僕は、旅行に行くと今までと違って、見る視点が変わってきた。必ず「車いすで行けるかな？」とか「この傾斜は大変かなあ」とか、だんだん無意識のうちに考えるようになってきた。僕の場合は取材旅行って言うより、自分が楽しんできてそれをたまたま書いているって感じなんだ。情報誌は貧乏団体なんで、取材費の予算がないって事もあるけれど、自分も楽しみながら関わっている。

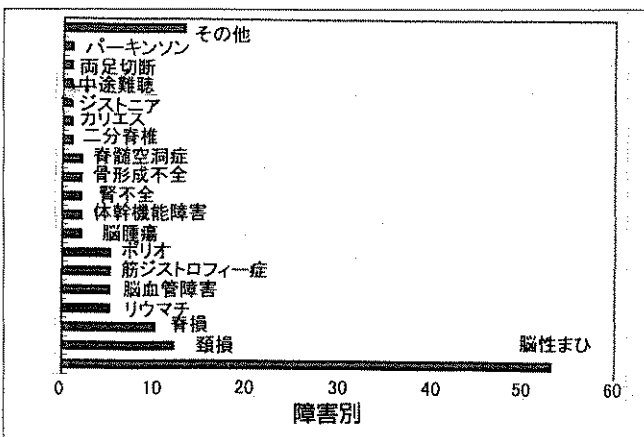
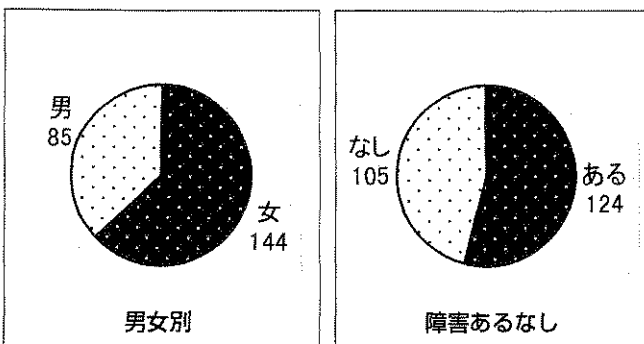
**鬼頭：**情報誌のいいところは二つあると思う。障害を持っている人に情報をどんどん発信して何かのきっかけにってもらうことと、伝えていく編集委員自身が取材や編集会議を通じて成長していけるという点。編集委員自身が成長していけるので、より充実した情報の提供ができると思う。ただ、受ける側の欲しい情報と読む側の送りたい情報のバランスがよくないと、より必要なより充実した情報誌にはならないので、読者の要望も大切にしたい。大変なこともあると思うけれど、この点をこれからも広げていきたい。

**KYON：**読者の人たちにも、もっと情報や感想を返して

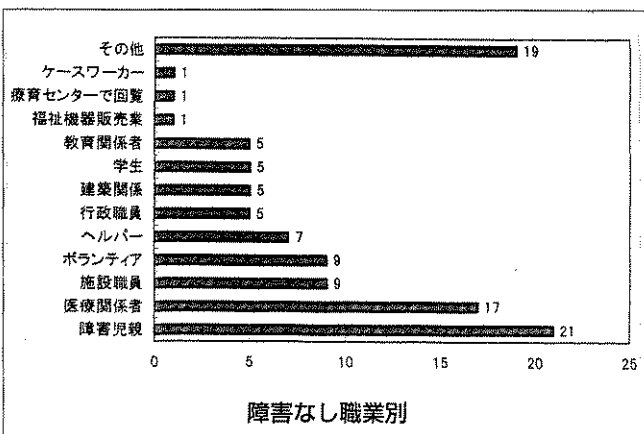
欲しいな。そうすると情報誌がもっともっと役立つ物になると思う。

鬼頭：そうだね、でも返してもらえないような情報誌にしないでほしいね。74人の読者がサポートクラブに登録してくれている。でも、その人の情報だけじゃなくて、その人の周りの人の情報も寄せてもらえるようになるといいな。

司会：さて次は未来へ向けた話をしていきたいと思います。読者の方へアンケートをお願いした結果も踏まえて話を進めましょう。

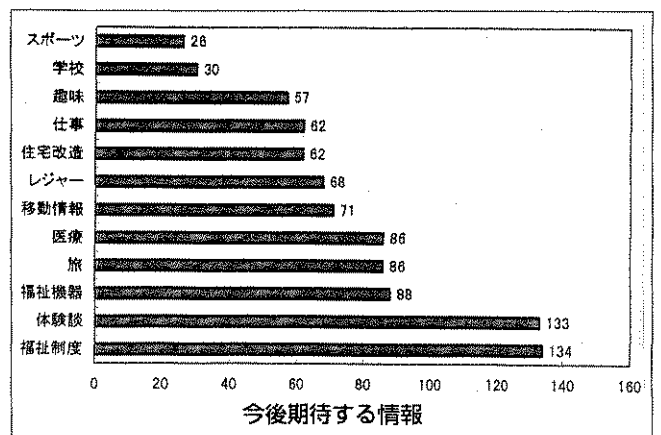
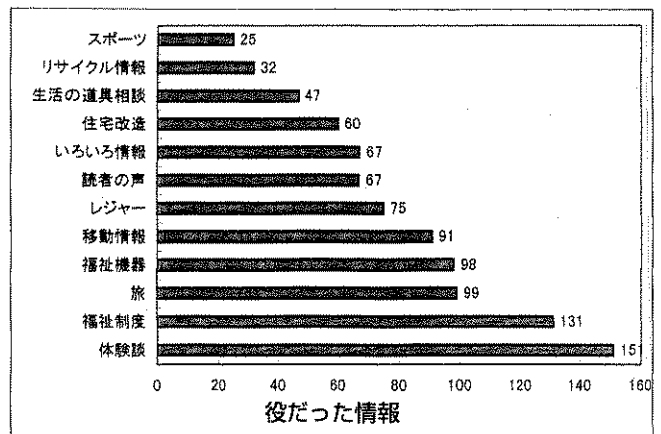


いつみ：脳性まひの読者が圧倒的に多いけれど、私と同じ頸髄損傷の人が次に多い事が分かったのでやりがいがあるなあ。



でっちゃん：障害児の家族の購読が増えているよね。学校の情報が欲しいって要望も増えている。私は、養護学校や普通学校とか、教育の在り方と障害児との関わりについてとか、これからそういうこともやっていきたいと思っている。もちろんこれまで通り、言語障害のある人の役に立つ情報も集めたい。

KYON：障害の有無の割合は、障害者、健常者で半々ぐらい。障害を持っている人の周りには中間ユーザーにも、アンケートに答えていただく程関心を持って読んでもらっているということは、とてもうれしいことだと思った。重度障害の人への情報の伝達には、中間ユーザーの役割がかかせないと思うから。



編集長：読者は、障害を持つ我々の体験談と福祉制度情報を強く求めているんだね。この点では、期待に応えられている部分もあるけれど、これから障害者の制度も「措置から契約」へ変わっていくので、その辺の情報をかみ砕いて掲載していく必要があるね。

さつき：医療情報への関心が高くなってきているね。以前「二次障害」の記事を書いたことで、たまに私も相談を受けているので、もう一度二次障害について書けたらなあと思っている。ドクターにも取材をしたい。それから、こういう情報を発信していく活動が仕事になればいい



いかなあとも思っています。

**KYON**：担当の「福祉制度」の情報が上位にあるので、頑張らなければと思っています。新しい情報はよく調べて、すぐに利用できるくらいわかりやすい言葉で掲載していきたい。何か法律があってその上で生活って回っているから、元になっている法律も含めて書いていきたい。中間ユーザーの人にもっと読んでほしい。私は障害を持っているわけじゃないけれど、「こんな人がこんな工夫をしている」とか「こんな暮らしをしている人がいるよ」ということを伝えていくことで、情報の橋渡しができるので、もっと中間ユーザーの購読者を広げていきたいと思っています。

**池山**：「一緒にやろうよ」という企画を立てたけど、希望者が少なくそのままになっちゃったんだけど、今後も誰かのお手伝いのような感じでやりたい。「きっかけがないけれど、何かしたい」という人と一緒に。基本的には“ハウツー物”みたいな感じ。一緒にやりたい読者の人がいるかなあ？

**いづみ**：ひとつの方法しか知らない場合、それがダメだったらもうあきらめるしかないんだけど、方法をいくつか知っていたら「これがだめだったら、じゃあこっちで行こう」と選ぶことができる。選ぶってことは誰でも持っていてあたりまえかなあと思うので、これからも自分が知っている情報や調べて知った情報を伝えていきたい。いつも「何が必要とされているんだろう？」ということが気になっていて、これからも、少しでも読者の声に答えていけたらいいなあと思います。それから今、自分自身が一番問題なのが、緊急時に駆けつけてくれる看護婦さんがいないということで、どうしても頸随損傷だと失禁とかそういう緊急事態があって、困ったときに誰かが24時間いつでも来てくれる体制がないという問題がある。「ネットワークを作る動きはないんだろうか？」とか「作って欲しい！」と思っているので取材したい。

**ヒラコ**：今後はアンケートの結果を材料に、書いていきたい。アンケートで言えば、「読者は医療についての情報を求めているんだなあ」ということが判ったので、例えばタマの“病院をぶっ壊せ！（仮）”とかいう感じで、医者と医療、病院、そういう部分の本音を書いていけたらなあとも考えています。

**KYON**：職を失うかもしれないね。

**ヒラコ**：まだ僕が書いていることを知っている人は地域に1名しかいません。

**一同**：もっと中間ユーザーに広げなければ！

**どんちゃん**：僕もいつも、生活が見えてくるような記事が書ければなあと思っています。これからも変わらずに続けていきたい。

**洋一**：僕自身は「障害者だから、〇〇をやってはいけない」と言う考え方はもう古い話だと思っていて、「障害者だから恋愛しちゃいけない」とか「性のことを考えちゃいけない」と言う問題も同じだと思っているので、長期に渡るかもしれないけれど、みんなの協力を得ながら「障害者の恋愛や性」のことを考えていきたいと思っています。大事なことだと思うから。

**司会**：さて、編集委員になったきっかけやそれぞれの情報誌への思いを話してきましたが、最後に編集長、まとめをお願いします。

**鬼頭**：福祉情報誌は自分たちの持っているありとあらゆる情報や、自立するために必要と思われる様々な情報をどんどん外へ出していこうとやってきたよね。編集委員自身も、はじめは何かしたいけど、何をどうしていいかわからなくてモヤモヤした毎日を通し、同じような状況の人の体験や暮らし方の情報にふれたことで、「はじめの一步」を踏みだした経験の持ち主だから、こんな体験をベースにして、制度情報やレジャー、スポーツ情報等々、自分たちが経験して良かったこと、こんな所へ行ってみたい、こんなものがあったら生活が楽しくなるということなどを伝えることで、自分たちと同じようにモヤモヤ苦しむ経験をしている人達の力になればと頑張ってきた。この初心を忘れず、今後も最新の情報はもとより読者のみなさんの要望にできる限り答え、「暮らしに役立つ、ちょっとワクワクする情報」を届けていきたいと思います。

**一同**：は～い。

**鬼頭**：それでは、「初心を忘れない！」ということで、また心機一転、51号から頑張ります。読者のみなさん引き続きご協力、ご愛読をよろしくお願いいたします。

……おわり



# AJU福祉情報誌 準備号から49号までの歴史

## 1992年

●準備号(11月2日発行) 全3ページ  
スタッフ紹介/名前募集/アンケートのお願い/お得な制度情報/チャレンジ情報など

編集部：情報誌の名前を募集したが残念ながら応募がなく、50号の今でも『AJU福祉情報誌』のまま…。制度情報では「トーキングエイドが日常生活用具の対象になる！」とか「補装具で交付される電動が4.5km/hから6.0km/hになった！」という情報を掲載。こんなに当たり前のことが、つい10年前にやっと変わっていたのかと改めて驚く。以下9名の編集委員体制で始まる。

スポーツ・レク担当 浅井貴代子(脊髄損傷)・磯部里美(当時日本福祉大学の学生) / 生活の道具相談室担当 田原美智子(作業療法士)・江戸ゆかり(作業療法士) / 福祉機器情報担当 佐々木克己(脳性まひ) / ハイテク情報担当 渡辺正幸(脳性まひ) / イベント情報担当 尾崎由利子(脊髄損傷) / いろいろな情報担当 久米てる子(ボランティア) / 福祉制度情報担当 大谷京子(施設職員)

## 1993年

●創刊号(3月2日発行) 全19ページ  
「病院へ行こう」ガイドヘルパー制度/チェアスキー/財布の工夫/アンケート結果報告など

●2号(6月14日発行) 全23ページ  
「たかおのムフフ☆ナイトライフ」スタート/「街に出かけよう」ヘルパー制度/スラロームとツインバスケット/筆記用具の工夫など

編集部：鬼頭義徳(頸髄損傷)が編集長に就任。たかおこと鈴木隆雄くん(筋ジストロフィー)にはとっても文才があり、福祉機器の情報を大人の文章(エッチ系)で楽しませてくれた。ファンも多かった。

●3号(8月) 全15ページ  
原田さんの映画情報/トーキングエイド利用者レポート/ヨット・電動サッカー/食器の工夫/たかおのムフフ☆ナイトライフ「デート」/サクセスストーリー開始「ひとり暮らし」

編集部：読者のみなさんからの反響が増え始め、読者の声が始まった。スポーツマンの原田さんこと原田敏夫さん(頸髄損傷)から記事をいただくようになる。

●4号(10月) 全17ページ  
「ゴンちゃんと一緒に夢をかなえてみよう」スタート/カルチャースクール特集/お箸の工夫/移動リフター紹介/海外旅行記/自立支援事業の紹介/サクセスストーリー「アパート生活」/たかおのムフフ☆ナイトライフ「彼女にカレーを…」など

編集部：ゴンちゃんこと中島洋司郎くん(当時中央福祉専門学校の学生)がデビュー。彼はとってもユニークで、「一緒に夢をかなえてみよう」と言う企画もすばらしかったけれど、手書きのイラストも独特だった…。現在は二児のパパ。このころから車いすで行く海外旅行の情報が増えてきた。

●5号(12月) 全19ページ  
住宅さがし情報/スプーン・フォークの工夫/タイプ別クリスマスの過ごし方/電動車いすで東京へ/サクセスストーリー「療護施設を出る」/ゴンちゃん「Tバックギャルに会いに行こう」参加者募集/スキー情報など

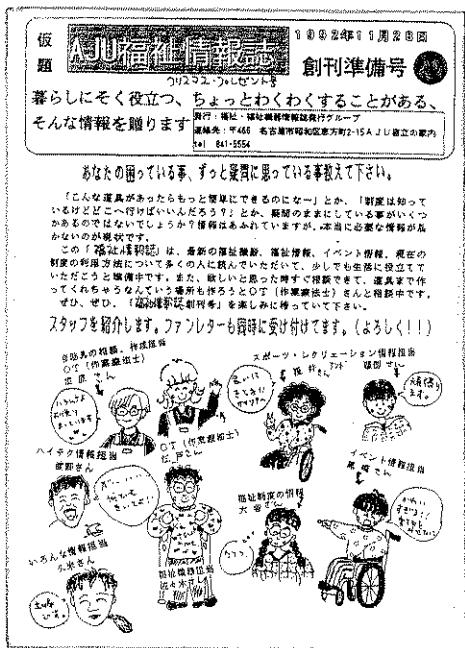
## 1994年

●6号(2月) 全15ページ  
「かつき詩のコーナー」スタート/ゴンちゃんと一緒にTバックギャル大作戦/サクセスストーリー「リフト付きバス」/食器の工夫/温泉情報一覧/便利な電話機など

編集部：堤剣喜さん(脳性まひ)が詩のコーナーでデビュー。以来、独特の剣喜ワールド展開し、ファンも多い。ゴンちゃんの企画は、当時、はやっていたTバックのパンツで踊るギャルに会いに行こうというもの。大阪の読者を迎え栄のディスコへ乗り込んだ。Tバックギャルに会えるディスコマップ付きで大反響の企画でした。車いすで利用できる温泉情報も好評。名古屋にリフト付バスが走り始めていた。

●7号(4月) 全17ページ  
サクセスストーリー「こうして電動車いすを手に入れた」/便利な電話機特集/飲み物の工夫/志摩スペイン村アクセスガイド/ペンション・旅行情報/「ゴンちゃんとおかまバーへ」の参加者募集など

編集部：1周年を無事迎え有料化のお願い



当時の編集委員の手書きの似顔絵、いかにも手作りってカンジで懐かしい…





をしました(年間1000円) 吉田さつきさん(脳性まひ、現在結婚して井上さつき)が、自分の電動車いす申請のレポートでデビュー。

●8号(6月) 全23ページ

ゆりこの何でも相談室はじまる/便利な雨具と雨の日の知恵/便利な靴/ウォータースポーツ/サクセスストーリー「映画にいけないよ」/電動車いすのオプションなど



●9号(8月) 全19ページ

さつきの突撃体験レポート「スキューバダイビング1」/制度の使い方 日常生活用具「お風呂編」/朝の身支度の知恵/簡単料理/靴下をはく工夫/大人のスポーツ・レク/サクセスストーリー「自立生活体験室」/何でも相談「障害を笑う子供をどうする」など



編集部:印刷製本を業者へ依頼開始(写真がきれいに出るようになった)突撃体験レポートがはじまり、第1回目からダイビングに突撃。「福祉のしおり」には載っていない「日常生活用具利用方法」の紹介を開始。大人のスポーツ・レク情報では競馬、競輪、ボート、そして、18歳未満お断りの…劇場のアクセスを紹介。

●10号(10月) 全19ページ

特集「つきあうこと・恋・愛・そして性」第1回/JIA住まいの相談が始まる/突撃体験レポート「スキューバダイビング2」/日常生活用具「トイレ編」/杖の工夫/サクセスストーリー「北海道ひとり旅」/たかおのムフフ☆

ナイトライフ「エアーマット」/何でも相談「海外旅行へ行きたい」など

編集部:「障害のある人と性」の特集がはじまり大反響。とても大切なテーマであり、編集会議でも盛り上がった。第1回目は匿名座談会。



愛と性のナビゲーター タイプ別ブックガイド  
行き合うこと・恋・愛・そしてセックスで思い感じるあなただけのガイドです

|                       |  |
|-----------------------|--|
| スタート<br>あなたに恋・愛がいますか? | 「恋しのセクシー・トリップ」太田次郎氏 著、300 冊者は2008年、安藤道歩さん『恋愛と性を通して自分のからだへの否定感を克服。自己信頼を取り戻してきた。』                              |
| いない                   |  |
| いる                    |  |
| 今の関係は?                | 大満足のお嫁様には、思つてよほど必要ないと思います。そんなあなたの場合は、ぜひ方を、ぜひ編集部まで知らせて下さい   |
| 幸せ感も何も大満足             |  |
| 性のところでちょっと悩む          | 「障害者が恋愛と性を探りはじめた」障害者の性と性の研究会 かもがわ出版 22,200 円(送料別)の考え方、身体経験談、体位いろいろなど役立つ情報満載                                  |
| 結婚など現在と将来の生活が課題       | 「愛は愛情字に勝って」ありのまま幸福工場出版社 いろんなカップルの、いろんな愛と性のインタビューがのっぴきらず見聞がセンターで販売しています。¥1,000 (送料別)厚さ約2-15 Te:(052-841-5841) |

●11号(12月) 全23ページ

チェアスキーができるゲレンデ/つきあうこと・恋・愛・そして性 第2回「どんなふうにつき合っているの?」/クリスマス・レストラン特集/住宅改造制度/戸締まりの工夫/突撃体験レポート「カヌー」など

表彰状

雨のしづく大賞 第10回

アイリライオンセンター 賞

アイリライオンセンターの機関誌「アイリライオン」は、L.L.Express 株式会社(両社の協賛のもと)に「アイリライオン」において、その功績を表彰すると共に、今後一層の努力を期待します。

2000.11.10

全国自立生活センター協議会 代表 山田 晴夫  
L.L.Express 編集長 斎藤 明子

1995年

●12号(2月) 全17ページ

鈴木隆雄くん最後のナイトライフ「早くてかっこいい外国製電動車いす」/阪神淡路大震災に関連して危機管理特

集/サクセスストーリー「私変わったよ!」/突撃体験レポート「結婚相談編1」はじまる/車に乗る工夫など

編集部:1995年1月10日、鈴木隆雄君逝去。いつもステキな大人の文章を書いてくれていた隆雄君のあまりにも突然の訃報。とてもつらい別れでした。残念ながら彼を越えるほど文才のある編集委員はまだ現れていない。

●13号(4月) 全15ページ

DO(ど)レジャーレポート「乗馬体験」/突撃体験レポート「結婚相談所編2」/福祉制度「電話とFAX」/入浴の工夫1/全国の自立生活体験室特集/サクセスストーリー「障害者だって信じ込まされていたのかな?」など

編集部:馬にまたがって池山ひろみ(二分脊椎)がかっこよくデビュー。全国の自立生活体験室の情報集めは、好評だったがとても苦労した。

●14号(6月) 全15ページ

DO(ど)レジャーレポート「キャンプ」/海外旅行情報/入浴の工夫2/制度情報「コミュニケーション機器」/突撃体験レポート「結婚相談所編3」など  
編集部:結婚相談所に登録して、男性のファイルから気に入った人を探さつきさんに読者のみなさんの注目が集まった。編集部一同、さつきさんの私生活突撃体験レポートに尊敬のまなざし…。



●15号(8月) 全13ページ

DO (ど)レジャーレポート「デイキャンプ」／さつき母校のPTAに怒る／Jリーグ観戦情報／便利な車特集／入浴の工夫3など

●16号(10月) 全21ページ



克己のおまかせ「映画館・美術館・食放題」／さつきと池山の「京都 舞妓さん変身ツアー」／筆記用具の工夫／制度で外国製車

いすを手に入れる／サクセスストーリー「TUBEのコンサート」など

編集部：克己さんが福祉機器担当からレジャー担当に変わる。「舞妓さん変身ツアー」では、さつきさんのかつらが取れるというハプニングが愉快だった。

●17号(12月) 全19ページ

クリスマス特集／DO (ど)レジャーレポート「京都寺巡り」／克己のおまかせ「映画とCD」／食事の工夫1／ウィンタースポーツ／本屋さん情報など



●18号(12月) 全7ページ

クリスマス・プレゼント号として増刊／補装具の基準外交付／便利なコミュニケーション機器など

1996年

●19号(2月) 全15ページ

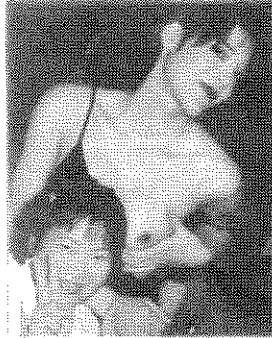
バレンタイン特集／克己のおまかせ「味どころ」／市営住宅事情／食事の工

夫／サクセスストーリー「自動車運転シミュレーション」など

●20号(3月) 全13ページ

出会いのために・サークル特集／パラリンピックを目指そう！／DO (ど)レ

ジャーレポート「京都の旅初・体・験編」／サクセスストーリー「自分でサインができない人のパスポート申請」など



編集部：「京都の旅初・体・験」、きれいなおかまさんやおっぱい丸出しのおかまのお兄さんと池山のツーショット写真には編集委員も一瞬引いた…。



●21号(4月) 全19ページ

新入学特集／「障害のある人の愛・性・つきあうこと」第3回／靴の工夫／携帯電話・ポケット電話・ポケベルを極めるなど

編集部：紙面がB5からA4サイズになる！若い人達に早い時期からどんどん情報を提供していきたいと考え、東海3県の養護学校高等部へ4月号のみ本誌のプレゼントを始める。特に巻頭の「養護学校特集」は卒業生の編集委員の熱い思いを込めた。

●22号(6月) 全21ページ

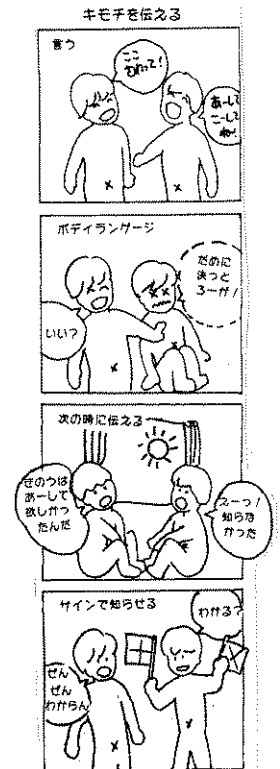
突撃体験レポート「ヤマハのJW-I 購入！」／障害のある人の愛・性・つきあうこと 第4回「避妊」／歩行器の色々／レジャー「森林浴」／海外旅行情報／便利な携帯電話／サクセスストーリー「駅にスロープが着く！」など

編集部：発売されてすぐヤマハのJW-I (車いす用電動ユニット) を手に入れたさつきさんの行動力と、決断力と財力に感心。当時まだ補装具の対象になっていなかった。性の特集「避妊」は、方法や体験談などなど、編集委員もとても参考になった。

●23号(8月) 全21ページ

防災特集／サクセスストーリー「スキャンジナビア留学体験記」／足にあわせて作ってくれる靴屋さん／「障害のある人の愛・性・つきあうこと」第5回／克己のおまかせ「映画館」など

編集部：性の特集「助産婦さんに聞く愛と性」は今でも読んでもらいたい。



●24号(10月) 全21ページ

DO (ど)レジャーレポート「車いすで飛行機に乗る」／突撃体験レポート「家探し編」と「体験ダイビング」／サクセスストーリー「行けば何とかになった海外旅行」／入浴の工夫1／克己のおまかせ「クリスマスに行くお店」など

●25号(12月) 全23ページ

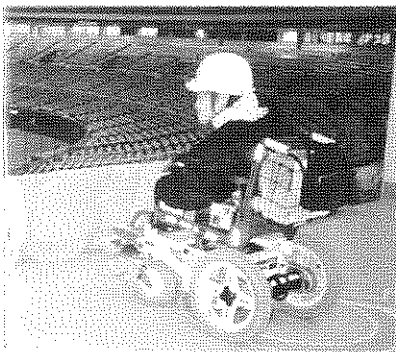
クリスマスの過ごし方／ゲレンデ情報／「バリアフリーキャンプ大会」レポート／DO (ど)レジャーレポート「お買い物物語1」／入浴の工夫2／サクセスストーリー「こうやって実現してきた！」など

1997年

●26号(2月) 全23ページ

長野パラリンピック冬季大会情報／突撃体験レポート「工事中の名古屋ドーム」／特集「パソコン通信・インターネット」／入浴の工夫3／DO(ど)レジャーレポート「買い物物語2」／克己のおまかせ「地下街特集名駅編」など

編集部：オープン前の名古屋ドームにヘルメットをかぶって突撃したさつきさんは、民間車いす利用者では初めてドームに足を踏み入れた人となった。パソコン通信やインターネットがだんだん身近になってきた。

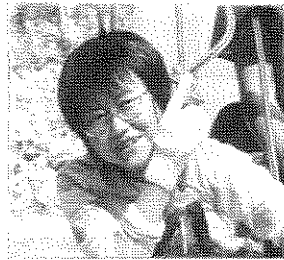


●27号(4月) 全19ページ

池山の一緒にやろうよスタート「自立のおすすめ」／ゆりこのトラベルセンターはじまる／突撃体験レポート「名古屋ドームのコンサート」／克己のおまかせ「地下街特集栄編」／介助制度と介助サービス団体一覧／入浴の工夫4など  
編集部：昨年に続き東海3県の養護学校高等部新入生へ4月号をプレゼント。レイアウトの一部を編集関係にお勤めの近藤光利さん(頸髄損傷)に手伝っていただくことになった。愛知県内の民間在宅福祉サービス団体の一覧を作り、とても好評で、病院のケースワーカーさんなども利用してくれていた。ちょうど、民間パワーが盛り上がってきた時期だった。

●28号(6月) 全23ページ

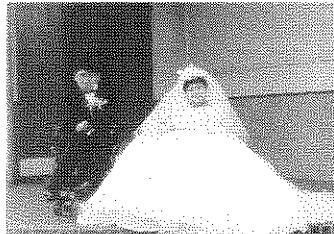
いづみのアクセス「リフト付タクシーを賢く使うには」／突撃体験レポート「家が見つかったよ」／池山のいっしょにやろうよ「町役場へGO!」／入浴の工夫5／住宅整備事業の紹介／サクセスストーリー「電動車いすで名鉄電車に」など



(頸髄損傷)さんがアクセス情報でデビューし、リフト付タクシーの細かいデータを調べ掲載した。さつきさんは自分の家探しのレポートを掲載。

●29号(8月) 全23ページ

「マッチのこぼれであそぼう」スタート／いづみのアクセス「チェアメイトで地下鉄の階段を降りる」／池山のいっしょにやろうよ「新しい身障手帳の手続き」／突撃体験レポート「住宅改造編」／克己のおまかせ「夏休み特集」／トラベルセンター／衣類の工夫1／サクセスストーリー「デイサービス」など



編集部：自立生活情報センター開所に伴い、車いすセンターと共同で発行する体制となった。当時新婚はやほやのマッチこと小島万智さん(脳性まひ)が編集委員に加わり、独特の結婚観を俳句にして披露してくれた。

●30号(10月) 全25ページ

福祉用具のリサイクル情報スタート／いづみのアクセス「金沢旅行記」／池山のいっしょにやろうよ「何でこうなるの?」／マッチのこぼれであそぼう／突撃体験レポート「住宅改造完了」／トラベルセンター「上高地と安曇」／衣類の工夫2など

編集部：表紙の担当が、尾崎由利子から津田美由貴(脳性まひ、現在結婚して森美由貴)に交代。「池山のいっしょにやろ

うよ」では、読者の純ちゃんが日常生活用具のFAXを申請して手に入れるまでと一緒に行動しレポート。途中で役所窓口の対応の問題点などが浮き彫りになり、愛知県の民生部に問い合わせをするなど二人で問題を解決していく過程が読者のみなさんの反響を呼んだ。



●31号(12月) 全27ページ

知佳の「病院は何も考えていなかった」／クリスマス特集／いづみのアクセス情報「ジョイスティックで運転できる車JOY-BAN」／マッチのこぼれであそぼう／克己のおまかせ「ペンション」／トイレの工夫など

編集部：納得のできないことに対して「どうして?改善して」と行政や関係機関に働きかけ続けていた橋本知佳さん(詩の挿し絵を担当)がデビュー。また、この年始まったジョイスティックで運転できる車「JOY-BAN」の活動は、頸髄損傷、脳性まひなどの重い障害を持つ仲間にとっては希望の光で、以来ずっと注目している。

1998年

●32号(2月) 全31ページ

池山のいっしょにやろうよ「役所に交渉」／パラリンピック情報／いづみのアクセス「車特集1」／車いすのポケットの工夫／突撃体験レポート「住宅改造」／食事サービス団体一覧／池山といづみの珍道中／知佳の病院トイレ奮闘記1／トラベルセンターなど

●33号(4月) 全29ページ 年間テーマ「はじめの一步を踏み出そうとして  
いるあなたへ」

座談会「はじめの一步は誰にでもある」／突撃体験レポート「お見合い、その後」／コミュニケーションエイドの工夫／克己のおまかせ「パラリンピック観戦記」／いづみのアクセス「車特集」／知佳の「トイレ奮闘記2」など  
編集部：養護学校高等部新入生に4月号をプレゼント。この年より年間テーマを決め、テーマに沿って毎号特集を組む体制が始まった。'98年は、何かしたいけれど踏み出せない人達に、編集委員の体験やアドバイス、ノウハウを伝えていくことを目標にした。「お見合い、その後」では、ついに結婚が決まったさつきさんのなれそめが語られている。

●34号(6月) 全25ページ

座談会「楽しいこといっぱいあるよ」／マッチのことばであそぼう／克己のおまかせ「リフォームヘルパー」／自助具の紹介／トラベルセンター／ピアガーデンへ行こう！など

●35号(8月) 全35ページ

特集「はじめの一步は誰にでもある！」／「でっちゃんの××の苦手なあなたへ」言語障害の人がコンサートチケットを予約する方法／知佳の「身障手帳制度に思うこと1」／突撃体験レポート「新婚旅行」／いづみのアクセス「ひとり暮らしのノウハウ」／マッチのことばであそぼう／ヨットレースに参加／姿勢保持など  
編集部：言語障害のあるでっちゃんこと森美由貴さんがデビュー。さつきさんは、突撃体験レポートでついに自分の新婚旅行まで突撃…。ケンカした話がかわいかった。



「シドニーオペラハウス前にて」

●36号(10月) 全27ページ

緊急特集「介護保険」／でっちゃんの「デート編」／突撃体験レポート「二次障害1」／克己のおまかせ「サザンのコンサート」／知佳の「身障手帳制度に思うこと2」／おしゃれグッズの紹介／Do(ど)レジャーレポート「秋の北海道」など

編集部：さつきさんの自らの体験を綴った「二次障害」レポートの開始。手術をするかどうかの選択など同じ障害を持った人達にぜひ読んで欲しい記事。スタート直前の介護保険情報を掲載した。



●37号(12月) 全33ページ

特集「思い切って出かけよう」／でっちゃんの「待ち合わせに遅れたら」／福祉機器展レポ／突撃体験レポート「二次障害2」／マッチのことばであそぼう／知佳の「郵送貸出と図書館の障害者サービス」／鍋料理の工夫道具／トラベルセンターなど

1999年

●38号(2月) 全31ページ

「ジムカーナ参戦記」／克己のおまかせ「ハウステンボス旅行記」／でっちゃん「生活編」／知佳の「郵送貸出」／池山・いづみのモデルに挑戦／シュノーケリング体験記／排泄の工夫／突撃体験レポート「二次障害」など

編集部：ちゅ～さん(脊髄損傷)デビュー。結婚生活を始めたでっちゃんの報告と、独身



だけでなく結婚式場でウェディングドレスを

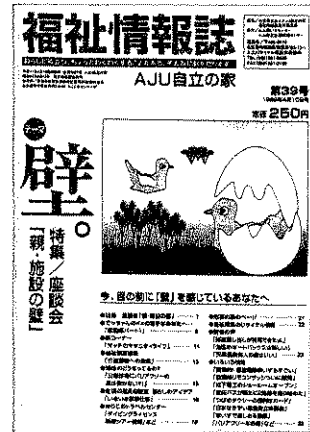
着てモデルに挑戦した池山といづみのレポートを掲載した。内容



充実に向け、読者モニターの募集を開始。

●39号(4月) 全35ページ 年間テーマ「壁」

新コーナー「マッチのマトニティライフ」はじまる／座談会「親・施設の壁」／でっちゃんの「恋愛編」／介護保険への危惧／知佳の「公営住宅1」／トラベルセンター／家事の工夫など



編集部：養護学校高等部新入生に4月号をプレゼント。はじめの一步を踏み出したときにぶつかる「壁」を年間テーマにした。

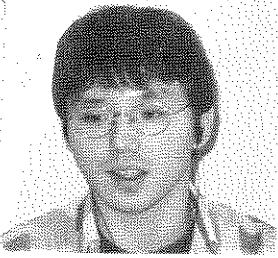
出版業界にお勤めのちゅ～さんが表紙と特集などのレイアウトを担当してくれるようになり、みんなに、「あれ?なんか違うね。急によくなったね!」とほめられた。マッチの言葉で遊ぶ担当のまちさんがご懐妊、出産までのレポートが始まった。

●40号(6月) 全35ページ



〇〇って何だろう?「福祉ってなあに?1」／そらいる探郎邸「さつきさんの邸」／座談会「言語障害・移動の壁」／いづみのアクセス「外国製の電動1」／突撃体験レポート「マッサージ」／Do(ど)レジャーレポート「ボストン美術館」／トラベルセンター／台所の工夫など

編集部：医療  
ソーシャルワ  
ーカーのマサ  
ルこと平子賢  
さん、建築士



のどんちゃんこと井上義英さんという専門  
家二人が編集委員に加わりパワーアップ。

●41号(8月) 全35ページ



「まーちゃん  
からのメッ  
セージ」/  
「レジャー情  
報」/特集

「親の思い、子の思い」/マッチのマタ  
ニティライフ/でっちゃんの「恋愛編  
2」/〇〇って何だろう?「福祉ってな  
ぁに?2」/知佳の「公営住宅2」/福  
祉機器展レポート/トラベルセンター  
など

編集部：読者だった高橋昌子さん(脳性  
まひ)が最新トークエイドのレポート  
でデビュー。岐阜の療護施設から毎回編  
集会議に参加していた読者の井上洋一さ  
ん(脳性まひ)も施設で行った竹島のレ  
ポートでデビュー。8月2日、マッチこと  
小島万智さんが“歩”君を出産。



●42号(10月) 全35ページ

特集「施設の壁」/いづみのアクセス  
「外国製電動」/克己のおまかせ/ひで  
きの上京レポート/〇〇って何だろ  
う?「ソーシャルワーカーって?」/  
尿失禁の工夫/いい宿ありませ/ト  
ラベルセンターなど

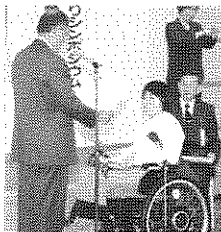
●43号(12月) 全31ページ

特集「言語障害」/マッチのマタニ  
ティライフ/介護保険/知佳の「電動車  
いすに乗りたいな」/そらいろ探郎団

「青山さん邸」/尿失禁の工夫/トラ  
ベルセンター/クリスマス・忘年会情  
報/原田さんの映画館情報など

2000年

●44号(2月) 全31ページ



特集「親の壁」/「移  
動の壁」/愛知県  
内のガイドヘル  
プ・移動サービ  
ス一覧/全国ガイ  
ドヘルプネットワ  
ーク事業一覧/突撃  
体験レポート「電  
動車いす・ウワサのクイッキー」/〇

〇って何だろう?「病院って?1」/そ  
らいろ探郎団「江上さん邸」/歯磨き  
の工夫/トラベルセンターなど

編集部：愛知県人にやさしい街づくり賞  
を受賞。



●45号(4月) 全31ページ

特集「脳性まひによる障害を持つ人の  
暮らし1」/でっちゃんの「生活編」/  
マッチのマタニティライフ最終回「子  
育てははじめの一步」/〇〇って何だろ  
う?「病院って?2」/髪の手入れの工  
夫など

編集部：養護学校高等部新生に4月号  
をプレゼント。「はじめの一步」を踏み出  
すための情報と、それに立ちはたかる「壁」  
の攻略体験情報に続き、この年のテーマ  
は、具体的な生活のイメージや目安にな  
ればと考え「道発見!」に決定。

●46号(6月) 全35ページ

特集「脳性まひによる障害を持つ人の  
暮らし2」/新連載マッチの「やっぱり  
子育ては大変だ!」/克己のおまかせ

「JR名古屋駅セントラルタワーズ」/  
突撃体験レポート「エステと眉毛パー  
マ」/知佳の「絵を描きながら思うこ  
と」/そらいろ探郎団「Mさん邸」/  
着替えの工夫など

●47号(8月) 全31ページ

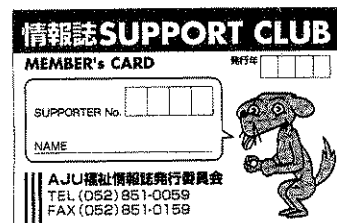
特集「使いにくい建物ができるのはど  
うして?」/防犯のこころ構え/〇〇  
って何だろう?「障害って?1」/夏の  
衣類の工夫/福祉機器展レポートなど

●48号(10月) 全31ページ

特集「頸髄損傷による障害を持つ人の  
暮らし」/ツリークライミング体験/マ  
ッチの「やっぱり子育ては大変だ!」/  
そらいろ探郎団「山田さん邸」/調理道  
具の工夫/モルジブ旅行記など



編集部：  
もっとも  
っと役立  
つ情報を  
お届けす  
るため  
に、読者  
のみなさ  
んが個々  
に持って  
いる情報  
をお寄せ



いただき、本誌を通して必要な方へ情報  
提供していく事を目的に「情報誌サポ  
ート倶楽部」を開設し、登録者を募集。現  
在74名登録。

●49号(11月) 全37ページ



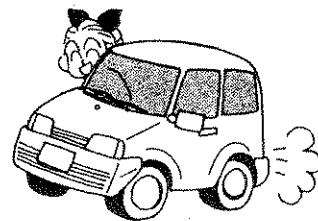
特集「筋ジス  
トロフィーに  
よる障害を持  
つ人の暮ら  
し」/さつき

の企画「インターネットをはじめよ  
う!」/いづみのアクセス「障害者職  
業センターって?」/〇〇って何だろ  
う?「障害って?2」/克己のおまかせ  
「シドニーパラリンピック観戦記」/  
トランプゲームの工夫/ニュージーラン  
ド旅行記など



# オープンが待ち遠しい！ 『ユニバーサル・スタジオ・ジャパン』

世界最大級のテーマパークがいよいよ3月31日、大阪にオープンします。楽しみにしている方も多いはず！そこで今回は、交通アクセスや、パーク内のバリアフリー状況を紹介します！



## ★ユニバーサル・スタジオ・ ジャパンQ&A

**Q：ユニバーサル・スタジオってどんなところ？**

**A：**映画をテーマに、迫力満点のライド（乗り物）やショー・アトラクション、また、レストラン、売店を備えた、総合的なエンターテインメント施設です。世界中で大ヒットしたハリウッド映画を最先端技術で再現し、そのシーンの中にリアルに入り込んだような気分が味わえるのが特徴。アメリカにある「ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド」、「ユニバーサル・スタジオ・フロリダ」の国外進出第1号の施設で、スティーブン・スピルバーグが創作顧問なので、映画好きにはたまらない場所となるでしょう！

**Q：どこにできるのかな？**

**交通アクセスは大丈夫？**

**A：**ジンベイザメで有名な“海遊館”や遊園地やレストランなどでにぎやかな“天保山マーケットプレイス”のある大阪ベイエリアにオープンします。（大阪市此花区桜島2-1-33）

### 交通アクセス

◎電車の場合（運賃：210円・身障手帳提示で半額）

1. 新大阪下車（エレベータあり）
2. JR東海道本線に乗換え（エスカレータのみ）  
大阪駅下車（エレベータあり）
- 3-a. 直通電車（1時間に3本）の場合  
JR桜島線桜島行に乗り換え（エスカレータのみ）、ユニバーサルシティ駅下（エレベータあり、新設駅、3月1日開業予定）  
\*乗車時間は約14分（乗換え時間含まず）
- 3-b. 1度乗り換える場合  
JR大阪環状線外回りに乗換え（エスカレータのみ）、西九条駅下車、JR桜島線に乗り換え（同じホーム）、ユニバーサルシティ駅下車
4. 徒歩250mで入口到着

### ◎自家用車

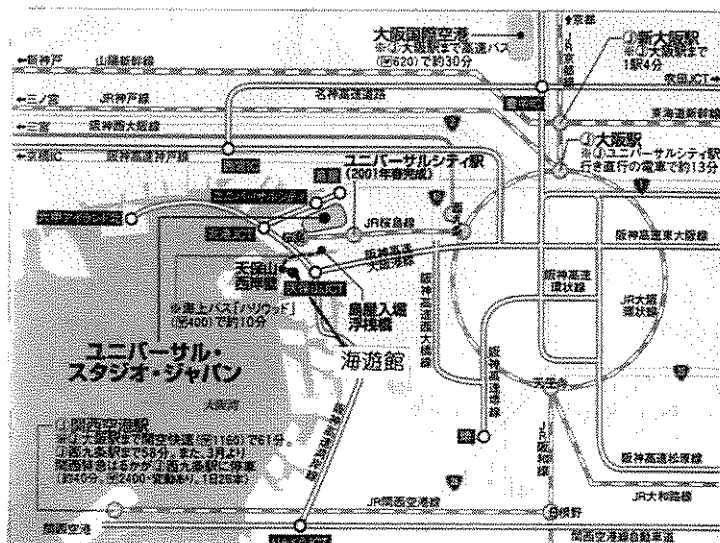
阪神高速5号湾岸線のユニバーサルシティ出口（現在、工事中）すぐ。身障駐車場は、スタジオ・パス売場や入場ゲートに近いパーク内北側駐車場に98台分あります。料金1台2,000円（1日）

### Q：営業時間は？

**A：**9～18時／9～19時／9～20時／9～21時／9～22時  
8～22時の6パターン。季節による。オープン時は、8～22時の予定。

### Q：入場料金はいくらなんだろう？ どこで買えるの？

**A：**入場券は、パーク内のアトラクションやショーのすべてが楽しめる“スタジオ・パス”（1日パスポート）の1種類のみです。



| 対象         | 障害者料金(*1) | 一般料金   |
|------------|-----------|--------|
| 子供（4～11歳）  | ¥1,850    | ¥3,700 |
| 大人（12～65歳） | ¥2,750    | ¥5,500 |
| 大人（65歳以上）  | 設定なし      | ¥4,800 |



(\*1)身体障害者手帳・療育手帳又は認定カード・精神障害者保険福祉手帳・被爆者手帳・戦傷病者手帳の提示で、本人と介助者1名に適用（1種2種などの手帳の中身の区別はない）

チケットの購入

予約販売：JRみどりの窓口・JTB、日本旅行等の旅行代理店15社とローソン。障害者料金チケットは、ローソン以外で販売。

当日券：4月2日以降スタジオ・パス売場で販売

Q：どんなアトラクションがあるの？  
利用できないものもあるのかな？

A：アトラクションは全部で18種類。  
下記の利用制限の他に、身長制限もある。

<車いす・電動車いすのまま利用できるもの>

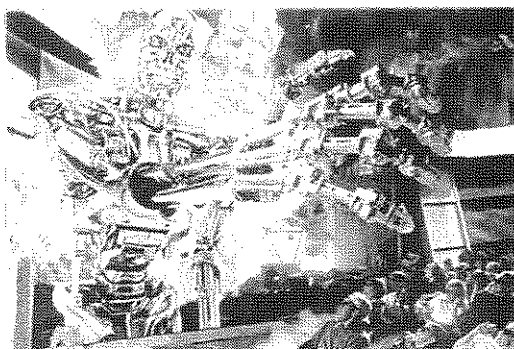
●ウォーターワールド

水上基地を再現した巨大なセットは、まさに映画そのもの。モーターボートや水上バイクが猛スピードで滑走したり、近未来海洋アクション映画の壮絶なバトルシーンを忠実に再現するスリル満点のアクションスタントショー。



●ターミネーター2・3D

ハリウッドの特撮技術が生んだ世界初の3Dサイバー・アドベンチャー。



入口で配られた3Dメガネをかけると、スクリーンのヒーロー（アーノルド・シュワルツネガー）が突如ステージに出現する。思わずのけぞってしまうほどの超立体映像がすぐ目の前に迫る。

●ユニバーサル・スタジオ・モーション・ピクチャー・マジック

日本のオリジナルアトラクション。ステイプン・スピルバーグが、特殊効果の仕組みや映画技術などの映画の舞台裏を詳しく解説してくれる。同時にこれまでの人気映画のハイライトシーンを一挙に公開。

●ザ・ワイルド・ワイルド・ワイルド・ウエスト・スタント・ショー

西部劇のセットを舞台に、ハリウッドの超一流スタントマンたちが、屋根から飛び降りたり、爆破でふっとんだりするスリル満点のスタント・ショー。離れワザに笑いもたっぷり詰めこまれている。



●アニメ・セレブレーション

日本のオリジナルアトラクション。ユニバーサル・スタジオの人気者ウッディー・ウッドベッカーが、ハイテク特殊効果でアニメから飛び出して舞台セットの上を動き回る。アニメと俳優さんの息のあったステージがみもの。

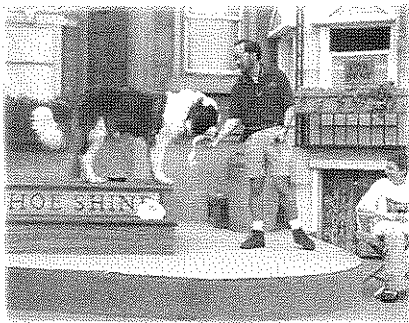
●モンスター・メーキャップ

ハリウッドの特撮技術と最先端の特殊メーキャップ技術で生まれた、恐ろしい怪物たちの秘密。身の毛もよだつモンスターのメークや特殊効果の秘密を、実演を交えながら紹介してくれる。ぜひ間近で見たい。



●**アニマル・アクターズ・ステージ**

あのラッシーやベートーベンなど、ハリウッドの動物スターたちに会える愉快なライブパフォーマンス。大物スターばかりの見事な演技の数々が楽しめます。



●**ロックン・ミッドナイト・モンスターフェスト**

ユニバーサル・スタジオから誕生し、かつて人々を恐怖のどん底におとし入れた怪人たち、ドラキュラ、狼男、オペラ座の怪人、フランケンシュタイン、フランケンシュタインの花嫁たちが、ファンキーなロックンロールを演奏しながらダンスと歌を披露してくれる。

●**ハリウッド・マジック**

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでの一日を最高に盛り上げてくれる、締めくくりのショーです。ラグーン（池）が広大なステージに変わり、光、水、音楽、スタントが一体となったダイナミックなステージが楽しめる。毎日日没後に開催。

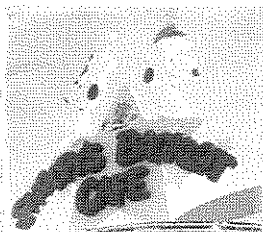


●**バックドラフト**

火災の恐怖をリアルに描ききった超大作を、エキサイティングなライブアトラクションに再現したもの。ハリウッドならではの特撮技術をフルに活かして、映画そのままのシーンを再現。目の前でドラム缶が爆発したりと、40以上もの特殊効果を駆使して、観客を熱風と閃光と爆音で包み込む。

●**スヌーピー・サウンド・ステージ・アドベンチャー**

日本のオリジナルアトラクション。スヌーピーとゆかいな仲間たちがステージに勢揃いする、楽しさいっぱいのアトラクション。



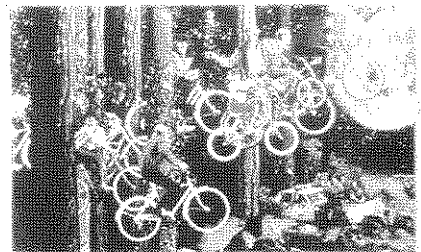
●**テレビ・プロダクション・ツアー**

目の前で進行するのは、毎日放送の実際のオンエア番組。司会者もゲストも、ディレクターもカメラマンも、すべて本物。録画番組から、生番組まで、ブラウン管を通してでは決して知ることのできない「現場」を、間近に見ることができる。

<自分自身や同行者の補助により利用できるもの>

●**E.T.アドベンチャー**

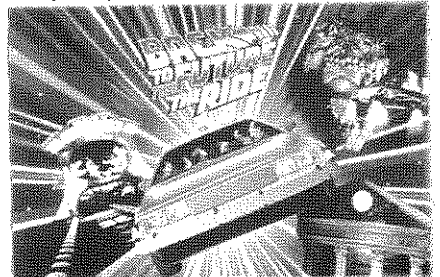
危機に瀕したE.T.の故郷の星を滅亡から救うというストーリー。映画



のシーンそのままに、自転車に飛び乗って月を横切り、星を飛び越えることができる?! 入口で名前を告げると、ラストにE.T.からあなたにメッセージが届く。

●**バック・トゥ・ザ・フューチャー・ザ・ライド**

アメリカでも大人気の体幹シミュレーション型アトラクション。おなじみのタイムマシン「デロリアン号」に乗り込み、過去・未来を飛び越える大冒険。雪崩や恐竜、噴火する火山をよけながら進み、乗り物が激しく揺れ、スピード感もある。



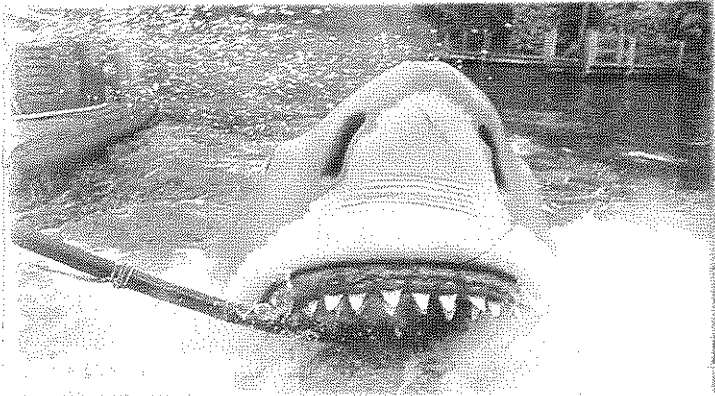
●**ジュラシック・パーク・ザ・ライド**

ボートに乗り込み熱帯雨林を探検するボートツアー。途中で危険エリアに迷い込み、荒れ狂った恐竜たちに遭遇する。逃れるためにボートは、闇に向かって25メートル下まで思いきり飛び込む・・・。



●ジョーズ

スリル満点のボートツアーアトラクション。想像をはるかに超える巨体が、ボートめがけて何度も何度も突進してくる。ライフルでガイドが応戦するが、あきらめず襲ってくるジョーズ。ボートは無事に戻れるのか？



●スヌーピーのグレート・レース、  
ペパーミント・パティのスタント・スライド

日本のオリジナルアトラクション、グレート・レースは、室内を駆けめぐるローラーコースター。スタント・スライドは、カーブが続くチューブを滑り降りる、プールでよく見かけるウォーターライダー。



Q：アトラクションは、車いすを利用している人も一緒に並んで入れるのかな？

A：ほとんどの待ち列に、他のお客さんと一緒に並ぶことができます。

Q：レストランやお土産屋さんはいっぱいあるのかな？

A：飲食店21ヶ所、売店24ヶ所、全部で45店あります。ハリウッドとフロリダで人気を集める飲食・売店の中から、選りすぐりのバラエティーにとんだ楽しいお店がいっぱい。

Q：オフィシャルホテルはあるのかな？

A：4つありますが、まだ建設中で、オープンは7月頃なので、次号で紹介します。

Q：ディズニーランドみたいに、事前にガイドブックを送ってもらえるの？

A：バリアフリーガイドブックを制作中。(まだ完成していない) 事前に配布するか、それとも当日窓口で渡すかに付いてはまだ決まっていない。

Q：視覚や聴覚に障害を持つ人達への、点字や手話通訳の準備はあるのかな？

A：点字ガイドブックを用意しているので、事前にインフォメーションセンター(後記)へ連絡すれば送ってもらえる。また、「音声誘導サービス」として受信機を貸し出し、パーク内にある触知図(6ヶ所)とパーク内7ヶ所の位置を案内してくれる。聴覚障害を持つ人に対しては、手話のできるクルー(スタッフのこと)または、筆談で対応。会話を円滑に行うために、コミュニケーション・カードも用意している。

Q：車いすや電動車いすのレンタルはありますか？

A：あります。車いすは1台500円/日、電動3輪車は1台3,000円/日です。



.....  
詳細は、インフォメーションセンターへ

TEL 06-4790-7000 (9:00~17:30)

\* 残念ながら、FAXでの連絡先はないそうです。  
.....

現在オープン間近のパークに一足先に潜入しようとして交渉中。うまくいけば、4月号でお知らせできるかも?!ただ、同じ様な取材依頼が多いため混み合っているそうなので、もし無理だった場合は、改めてオープン後に取材しますね。

# 読者のみなさんの 困りごと 第1弾

アンケートでみなさんにお答えいただいた「情報がなくて困っていること」の一部を紹介いたします。それぞれについて編集委員でコメントを付けさせてもらいました。まだまだ時間をかけて調べたり、関係機関に声を出していく必要がある難しい問題も多く、引き続き、調査、取材を進めます。

## ●28歳の脳性まひによる障害を持つ方より

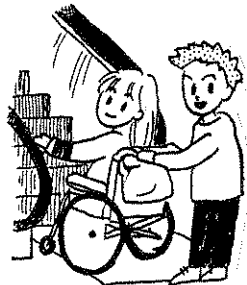
車いすで終電に乗る方法は？（深夜だとエレベータが動いていない）

編集部 3人へ聞きました

**Aさん**：根性でそこら辺の人を捕まえるしかない。ただ、酔っぱらった人にはなるべく頼まないようにしている。落とされる心配あり。

**Bさん**：エレベータが動いている次の駅まで歩く。久屋大通駅の場合は歩いて15分ぐらいの丸の内駅が近い。

**Cさん**：まだお願いしたことはないけれど、チェアメイト（階段昇降機）はあらかじめ駅に連絡しておけば用意してくれるので、終電に乗るのでヨロシクって手もある。



### <終電までエレベータが利用できない駅>

伏見駅 日土地ビル (7:30~23:00) / 池下駅 サンクレア池下 (7:00~23:00) / 久屋大通駅 アネックスビル (10:00~22:00) ・セントラルパーク (7:00~22:00) / 栄駅 中日ビル (7:20~22:15) / 矢場町駅 久屋大通公園 (9:30~19:30) / 日比野駅 ベルクレート日比野B棟 (8:30~21:30) / 今池駅 今池ガスビル (9:00~22:00)

## ●48歳の脳性まひによる障害を持つ方より

脳性まひの2次障害についてもっと情報が欲しい。二次障害になって10年ですが、医者もよくわかっていないようなので、手術をしなくてもいい治療方法等色々な例を教えて欲しい。

編集部さつきより

もう一度調べて報告しますね。

## ●53歳の脳性まひによる障害を持つ方より

特にボランティア情報が欲しい。

## ●24歳の脳性まひによる障害を持つ方より

ボランティアを探す方法

## ●24歳の脳性まひによる障害を持つ方より

僕の住んでいる地域のボランティア情報

編集部：5人に聞いてみました



**Aさん**：色々なイベントに顔を出して声をかける。後は人づてが一番確実。僕は150人くらいボランティアさんがいるけれど、99パーセントは人づて。あとはチラシを見て来てくれた人だけれど、経験上チラシで来てくれた人は長続きしない。

**Bさん**：授産施設で働いているので、実習生や見学の人を捕まえるのも手です。

**Cさん**：外出の度に介助者を探すのは大変なので、食事とトイレ介助は介助カードを用意しておいて、街のゲームセンターやロツテリアなどの店員さんに頼んだりしているよ。

**Dさん**：「ボラみみ」というボランティアのための情報誌（東海地区）や、無料の地域情報誌に掲載依頼をしている。飲み会やコンサートで知り合うこともあるよ。

ボラみみ連絡先：FAX 052-581-5633専用

**Eさん**：ボランティア情報は、役割的には地域の社会福祉協議会が持っているはずです。

.....

## ●24歳の脳性まひによる障害を持つ方より

障害者に対しての職情報

## ●28歳の頸髄損傷による障害を持つ方より

在宅ワーク情報が欲しい

編集部：本誌49号のP10を見て下さい。

.....

## ●50歳の障害児母

三重県北部に住んでいるが、車いすで入れる店などの情報が少なく困っています。

編集部：情報を集める努力をします。



### ★ガイドブック紹介

・かめやまバリアフリーマップ（問：市役所 TEL05958-2-1111 FAX05958-2-8180）

・桑名市福祉マップ（問：福祉マップ作りの会 TEL0594-31-0311）

・四日市バリアフリーマップ（問：バリアフリーマップ作成委員会 TEL0593-54-8275 FAX54-8306）

●57歳のリウマチによる障害を持つ方より

1,000円賛助会費のリフトカーに関して理解しにくい。費用や、1度どこが中心なのかなどを教えて欲しい。

編集部：「リフトカー事業」の運行担当克己より移動サービスには色々な言葉が使用されていますが、おおよそこんな風に区別できます。

★リフトタクシー タクシー会社等の認可を受けた営利運行団体の運行サービス（大型タクシー運賃）＊東海近辺の情報は本誌P29参照

★リフトカー運行事業 名古屋市独自の事業。身体障害者手帳を持ち車いすを利用している人を対象に、タクシー会社を借り上げ、現在5台の車両で約840名の登録者のニーズに対応しているため、電話がつながりにくかったり、予約が取れないことも多い。TEL052-841-8882

運行エリア：名古屋市内に限定（但し、名古屋市近郊の通院や名古屋空港へは利用可能）

運行時間：8:00～20:00

料金：1時間以内の乗車で400円

＊名古屋市が発行している重度障害者タクシー券（1枚820円）も利用可能。

★ハンディキャブ 民間の非営利運行団体や福祉団体等の運行サービス。愛知県では『愛知県ハンディキャブ連絡会』を作り、情報交換や移動手段の充実に向け活動をしている。

「愛知県ハンディキャブ連絡会」TEL052-851-5240

運行エリア・時間：原則的には限定されていない。（運行団体により若干異なる）

料金：賛助会員として年間1,000円

・手動車いす、電動車いすの場合

乗車場所～10kmまで2,000円/10kmを越える毎に2,000円が加算

・ストレッチャーの場合

乗車場所より10kmまでは、4,000円/10kmを越える毎に4,000円加算

＊上記は、名古屋市内の運行団体が運行した場合の料金設定。市外の団体を利用希望の場合は、お手数ですが事前に確認をお願いします。

<名古屋市にある加盟団体>

「車いすセンター港支部」052-384-0866/「ふれあいプロムナード」052-653-8598/「外出支援インコム」090-3153-8004/「外出支援よしかね」052-321-0295/「エルム福祉相談所」052-733-3464

<市外の団体>

甚目寺町「ニューワールドインターナショナル」070-5662-2384/犬山市外出支援型団体「野いちご」0568-68-0791/豊田市「豊田ハンディキャブの会」0565-31-1117（市内のみ運行）/岡崎市「岡崎車いすセンター」0564-26-5080（市内のみ運行）/瀬戸市「せと車いすセンター・ハンディキャブの会」0561-85-7450（市内のみ運行）/豊橋市民間介助型移送サービス「かけはし」0532-48-1947/新城市「マークス・障害者のことを考える会」05362-3-0231/鳳来町「車いすセンター鳳来」05363-4-0843

全国の情報：全国移送サービス実施団体ガイドブック（東京ハンディキャブ連絡会 '99.3月発行 ¥2,200 TEL&FAX 0426-36-6807）

今後も外出支援サービスに関する質問、ご意見等ありましたら編集部克己までお寄せ下さい。

●44歳の障害児親

脊髄損傷で大学生（19歳）の息子ですが、今何とか下宿生活を送っています。ただ、一般の下宿なので出きる範囲で改造したのですが、お風呂にはいることが出来ません。シャワーは頑張っているようですが、狭い部屋なので何ともなりません。



編集部：どんちゃん（建築士）より一度連絡を下さい。近くでしょうか？

●45歳の障害児母

高等部卒業後参加できるサークルが近所にあるといいな。

編集部：区の生涯学習センターや青年の家等の講座やサークルにぜひ参加して下さい。インターネットで自分に会う近くのサークルを見つけてもいいし。介助が必要であれば、最初はガイドヘルパー制度（詳しくは区役所へ）を利用してはどうでしょうか？

●43歳の体幹機能障害による障害を持つ方より  
災害時の対策

編集部：本誌P20を見て下さい。



●42歳の障害児親

学区の障害児学級に通っているが、養護学校の様子が全く分からないので、体験談などを教えて欲しい。生活面や訓練、勉強面などの情報も欲しい。

●障害児の両親

8歳の息子が脳性まひによる障害を持っています。障害児が普通学級に通うに当たっての対応が、同じ市内なのに違うようなので、障害児が普通学級に通っている方のその学校の対応を聞きたい。

編集部：今後情報を集めていきます。今回は2冊の冊子と本を紹介します。

★愛知県の学童期の障害児実態調査報告集「こんな“現在”って楽しくない!!!」2000.7発行 ¥1,000

購入：名前・郵送先・希望冊数を記入し下記へ  
(郵便振替口座) 00860-7-93488

(加入者名) 全国障害者問題研究会愛知支部

★ハンディをもつ子と親のためのガイドブック  
「お姉ちゃんと同じ学校に通いたい！」  
'98年発行 ¥1,000

購入：編集部へ

TEL052-851-0059 FAX052-851-0159



●?歳の障害児母

家族みんなで読んでいます。身障者用駐車場に一般の人が平気な顔をして止めていることをどう思いますか？

編集部 4人に聞きました。

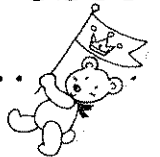
Aさん：いつも切れている私、運転手がいればその場でふるえながら「ここは身障用です」と言っている。私の顔は怒っている。いない場合は、紙に身障用の意味を大きい字で書いた紙を運転席にしっかり貼るといいと思っているけれど、いつも作るう作るうと思いつつ時がたってしまう。セロハンテープも持参しないとなあ～。

Bさん：どうしても他に止めるところがなければ、運転手さんは車内に待機して同乗者が用事を済ませに行く。そして、身障の人が来たらすぐ移動することが条件だと思う。

Cさん：高齢者で車いすマークを付けている車が増えているから、だんだん身障者駐車場は足りなくなると思う。数台の身障用を取り合うのではなく、どの駐車場も少し広くなっていれば分ける

必要も無いと思う。一般駐車場は台数を多く駐車できるようにと駐車スペースが狭すぎる、杖を付いている人でも乗り降りが大変、もう少し広いスペースを取ってくれれば楽なだけだ。

Dさん：基本的に駐車すべきでないと思うし、個人のモラルの問題だと思います。でも、なぜ広いスペースが必要なのかを知らない人も多いと思うので、それは、教育の問題であり、教習所の中でも取り入れるべき項目ではないでしょうか。それに、車いすでなくても出入り口に近いところに止めたい人は多いですよ。心臓の悪い人、お年寄り、雨降りに赤ちゃんを連れのお母さんなど。1、2台分しかない現状も改善すべきだと思います。



●34歳の左上肢、両下肢、体幹障害

生活保護を利用しているが、車やパソコンや携帯電話の所有が認められなかったり、免許取得の補助金も収入と認定され保護費から差し引かれたり、納得のいかないことだらけ。他の人の地域ではどうでしょうか？

編集部：詳しい施設職員さんに聞きました。

生活保護受給者の自動車保有は原則的には認められていません。ただし、事業のために使う(個人タクシーなど)の場合や身体障害者が通勤に使う場合などは認められています。日常生活での買い物やドライブだけでは現在のところ保有は認められず、通院や通所など「定期的に利用」されることが必要だそうです。だから、生活上で定期的に使用する必要性を訴えることです。パソコンや携帯電話については、障害者の場合、緊急連絡や社会参加の手段として必須なものであると役所に訴える必要があるでしょう。現に生保を受給している障害者でパソコンや携帯を保有している人はみえます。免許取得の補助金は収入認定にならないはず。「自立」のための手段として免許を取得するという明確な理由があり、そのために使う補助金なので収入認定されるはずはないと思います。どこに住んでいる方でしょうか？

生活状況が詳しく解らないので、はっきりしたことは言えませんが、もしよければ直接話をききますよ。

本の紹介：『How to生活保護』¥1,800

現代出版 東京ソーシャルワーク編





# 東海豪雨を振り返る

昨年の9月11～12日の未明にかけて東海地方をおそった豪雨は、愛知県内で死者7名、家屋の全、半壊190世帯、床上浸水54,742世帯、床下浸水79,926世帯という大きな被害をもたらしました。誰もが状況を充分把握できないまま、どうするか判断に迫られたこの非常時に、障害を持つ仲間たちはどうしていたのか？被災者と愛知県へ取材をしました。



## 被災者への聞き取り

■名古屋市西区で被災したTさん  
(床上約75cm浸水)



コツコツためてやっと買ったパソコン、コミュニケーション手段のFAX、長い間愛用していた机、足である電動車いすや自家用車、そして、冷蔵庫や食器棚、1階や外にあったもの全てが水に浸かり、喪失感漂う中の取材でした。

### ◎Tさんの状況

家族(母・姉)と同居  
 身体の状況 脳性まひ(移動 室内:膝立ち  
 外:電動車いす トーキングエイド使用  
 食事、排泄、着替えなどに介助が必要)  
 昼間は小規模作業所で働いている

### ◎経過

#### 9月11日(月)

雨は降っていたが、いつも通り1階の自分の部屋で就寝

#### 9月12日(火) 深夜2時頃

町内会長から「避難勧告が出ている」という電話を受け、その時既に布団が濡れていたため、驚いて母親を起こす。驚き、状況が分からず母が親戚へ電話をしたら「とりあえず2階へあがれ」と言われ、トーキングエイドだけ持って姉におんぶされ、母に後ろから支えられ階段を上がる。あつという間に水が増え、2階に避難するのがやっとで、避難所へ行くことは考えられなかった。

#### 同日 午前中

- ・電話、電気、ガスが不通。携帯電話で親戚や母の友人に連絡をして、助けに来てもらうことになる。
- ・親戚や友人から「通れない道があり、とてもた

どり着けない。ラジオで聴いた『災害119番』へ電話をするように」との連絡がある。

・『災害119番』へ電話。「食べる物も、トイレもないので困っている。障害者がいるので家の近くの青い鳥学園(障害者施設)へ避難したい」と相談すると、「ポートがないので、2階にいた方が安全」と言う返事。食べ物もトイレもない2階にとどまる。トイレは、たまたま2階にあったプラスチック製の箱に新聞紙を引いて代用した。

#### 同日 午後15時頃

「Tさ～ん」と外で誰かが僕たちを呼んでいるようだったので、窓から見ると三重県の自衛隊がポートで僕の家を捜していた。「何人いますか？」と聞かれたので、避難所へ連れて行ってくれるんだと思ったら、物干し竿の様な物に牛乳パックを3つ入れた袋をつるして、僕たちにくれた。その内の1つは途中で水に落ちて、手元に届いたのは結局2つ。そして、帰っていった。障害者の家だけ安否確認をしていると思っていたが、近所の障害者の家には寄っていなかったようで、後で、親戚が電話で「何とかしてくれ」と強く言ったので来てくれた事が分かった。

#### 同日 午後17時頃

親戚が水の中をおにぎりと飲み物を持ってきてくれる。床上浸水してからはじめての食べ物。とてもうれしかった。

#### 同日 午後18時頃

友人が心配して来てくれる。おにぎりが余っていたので、近所の障害者の友人の所へ届けてもらう。その家もはじめての食べ物だったらしい。

**9月13日 朝**

・時々利用しているレスパイトサービス（コンビニハウス）のスタッフが、3人分のご飯とみそ汁を差し入れてくれた。トイレも食事も困っていたので、コンビニハウスへ避難することになる。水は膝ぐらいまで引いていたけれど、車いすでは難しいので、スタッフにおんぶしてもらって避難。  
 ・携帯電話も充電がなくなり、トイレも食事も困るので、母と姉も親戚の家へ避難。

**9月14日 午前**

・通勤している小規模作業所からの声かけがあり、コンビニハウスはたくさん避難している人がいたので、作業所と併設の施設へ移動。

**同日 昼**

・近所の人に水が足首まで引いていることを確認して、まず家族が帰宅。片付け始める。

**9月15日**

大勢のボランティアの協力を得て片付け。

**9月20日**

自分の部屋が何とか片づき、帰宅する。

**■名古屋市西区で一時避難したYさん**

（幸い被害はなかった）



**◎Yさんの状況**

家族（妻）と同居  
 身体の状況 頸髄損傷（移動 室内：車いす  
 外：自家用車）  
 昼間は会社勤務

**9月12日 深夜1時頃**

・広報車の「避難勧告が出ました」というアナウンスでただごとではないことに気が付く。  
 ・その後すぐに組長さんが「新川が決壊するかもしれないので、1、2階の人は避難して下さい」と一軒一軒まわって知らせに来た。とりあえず3階の踊り場へ避難して、近所の人達と避難所へ行くかどうか話し合った。  
 ・迷っていたけれど、川の土手の見えるところへ行ってみたら、後50cmぐらいで堤防が切れそうだったので、このまま踊り場で車いすに座ってずっと過ごすよりは、避難所へ行こうと判断した。大切な物を高いところへ上げ、トイレはきつとな

いだろうと思い、失禁パッド類をたくさん鞆につめた。

・避難したいけれど足がなくて困っていた近所の高齢者を乗せて、車で近くの小学校へ避難。（徒歩5分ぐらいの距離）

・避難場所の体育館は階段しかない2階。消防団の人が4人ぐらいを集めて担ぎ上げてくれた。そして、「病人部屋」へと案内された。寝たきりの人、妊婦、車いすの人、体調不良などの人用に特別に部屋が用意しており、そこにだけ毛布もあった。ベッドがなく床に降りるのも大変なので、妻が機転を効かして端にあった机を並べてベッドにしてくれた。トイレはなかったけれど、他には特に不便はなく、寝れた。

**同日 5時頃**

・新川決壊のニュースが入る。決壊側の人には申し訳なかったが、決壊により川の水位はどんどん下がり、雨も小康状態になってきたので、もう大丈夫と判断して車で自宅に戻る。

後日談：1階の住人で、朝起きて初めて避難勧告を知ったという人がいた。組長さんは全戸に伝えに行っただけけれど、反応のないところは留守だと考えたのか？今回はたまたま大丈夫だったけれど、その辺の連絡は誰の責任なのだろうと思った。



**疑問に思ったことを「愛知県の県民生活部 消防防災課」に聞いてみました。**

Q1：愛知県の「災害弱者対策」の根拠となる計画や指針はどのような形で公開されているのでしょうか。

A1：愛知県の防災対策については、愛知県地域防災計画により定められており、「災害弱者対策」もこの計画の中に記載されております。

(第27章 災害弱者の安全確保対策) 消防防災課及び図書館でご覧いただけます。愛知県健康福祉部では、この地域防災計画の災害弱者対策の部分を補完する「市町村災害弱者支援体制マニュアル」を平成9年3月に作成しました。このマニュアルは、阪神・淡路大震災の反省から、各市町村がそれぞれの実情に応じて災害弱者支援体制を整備する際の参考として作成し、市町村等関係機関へ配布しました。なお、今回の水害における問題点などを検証し、この防災計画及びマニュアルを見直すこととしております。

Q2：災害時SOSが出せない場合の安否確認はこの役割となっているのでしょうか。災害弱者の安否確認は何か特別に考えられているのでしょうか。

A2：愛知県地域防災計画においては、すべての被災者を対象に災害後の応急対策計画を立てており、基本はこれによることとなります。これは、被災すればすべてが弱者であり救助等が必要な者を救うとの考えからです。しかし、災害弱者については特別に配慮を要する方であるとの認識から、上記「市町村災害弱者支援体制マニュアル」においては、災害弱者の安否確認について「あらかじめ把握された災害弱者の所在情報を地域に開示することにより、市町村が自主防災組織、自治会、町内会、民生委員・児童委員ボランティア等地域住民の協力を得て、自宅等に取り残された災害弱者がいないかどうかの現場での確認を行う。」と記載されていますが、それぞれの市町村が実情に応じて計画することとしています。

Q3：災害時に素早い移動ができない障害を持つ住民等(災害弱者)がどこで生活しているかを消防署や警察は把握しているのでしょうか。また、どこが把握しているのでしょうか。

A3：消防署や警察が災害弱者に関する情報を把握しているかどうかは承知してありませんが、災害弱者の把握について、上記「市町村災害弱者支援体制マニュアル」においては、「災害弱者対策の出発点は、地域における災害弱者の所

在(実態)を把握することであるが、個人のプライバシー保護の問題などから災害弱者の所在把握が進んでいないのが現状である。災害時に的確かつ迅速な安否確認、避難誘導を行うためには、平常時からの所在把握が必要不可欠であることから、市町村は、個人のプライバシー保護に配慮しつつ、災害弱者の所在把握を行うことが必要である。」と記載されていますが、それぞれの市町村が実情に応じて計画することとしています。

Q4：避難したいけど身体に障害があるため動けない状況の時、SOSをどこに出す仕組みとなっていて、その広報はどうしているのでしょうか。

A4：愛知県地域防災計画において、被災者の救出は警察、市町村が行うこととされています。災害弱者の救出もこれを基本としますが、より迅速な対応を行うため、上記「市町村災害弱者支援体制マニュアル」においては、災害弱者の救出について、「市町村は、以下の点に留意し、災害時の救出、避難誘導等を行う。救出、避難誘導については、警察や消防等の指示のもとに行われることが望ましいが、迅速に行うためには、警察や消防等の活動が軌道にのるまでの間は自主防災組織、自治会、町内会、民生委員・児童委員ボランティア等地域住民が主体となって、安否確認と併せ一体的に行っていく。」と記載されていますが、それぞれの市町村が実情に応じて計画することとしています。

Q5：指定の避難所なのになぜ身障トイレがなかったり、段差があるのでしょうか。

A5：避難所に関しては、愛知県地域防災計画(第28章 避難対策)に市町村が、避難場所や避難所の選定及び整備等行う事とされています。防災計画においては、避難所の選定について、「住民にとって身近な施設」「建物自体の安全性が確保」「主要道路等との緊急搬出入用災害アクセスが確保」等を留意し、公私立学校、公民館等を適切な施設と掲げており、区別をしていない為です。

Q6：人工呼吸器や吸引等医療行為が必要な人の避難所も一般市民と同じ場所なのでしょうか。

A6：A5と同じ

Q7：今回の水害の経験を踏まえて、災害弱者対策の課題をどうお考えですか。

A7：災害弱者支援の課題としましては、①災害弱者の所在把握の徹底とプライバシーの問題。②災害弱者と消防、警察、市町村等との間の情報伝達体制の確立が大きな点であると考えています。

Q8：「水害対策検討委員会」での災害弱者の対応の見直しについては、聞き取り調査を行うのでしょうか。会議の傍聴は出きるのでしょうか。

A8：委員会としては、聞き取り調査については考えておりません。また、会議の傍聴についても考えておりません。

Q9：市民が協力できること、日頃の備えについて教えて下さい。

A9：地域の防災訓練等に積極的に参加するなどして、防災意識の高揚に努めていただければ、災害時にも迅速かつ的確な行動がとれるとおもいます。住んでみえる市町村の防災体制を確認し、避難経路はどうか、避難所はどこが一番近いのか等、日頃から災害に備えることが大事です。また、テレビやラジオ等、確かな情報を持ち行動することも必要です。

まとめ



平成9年に愛知県が作成し、市町村に配布した「災害弱者支援体制マニュアル」にある「あらかじめ把握された災害弱者の所在情報を地域に開示する」作業は、今回の災害で進んでいないこと、機能していないことが明らかになった。質問への解答から、愛知県はマニュアルだけ作成し、後は市町村に任せているという姿勢だが、市町村の取り組みのチェックと状況の把握を随時するべきだと強く思う。県の担当だった事業が、地域の実情にあわせてと言う理由でどんどん市町村の役割となっている現状で、県としての役割をしっかりと果たして欲しいと思う。また、マニュアルの内容は、住民の自助努力に頼りすぎている。災害時に近所で助け合うのはごく自然なことで、それを当てにした行政のシステムはおかしい。人の生きるか死ぬかの状況時のシステムに地域の人の善意が組み込まれては安心して生活できない。安否確

認や救助に警察や市町村がすぐ動けるシステム（たとえば近隣市町村との連携や情報収集・伝達システムの構築など）をもっと模索する必要があると思う。「市民が安心して生活できるためのシステム作り」これが行政の役割だ。

ただ、行政だけに依存するのではなく、障害を持つ我々も、地域の防災計画を把握し、指定されている避難所が利用できるかどうかのチェック、SOSを発信する場所の把握をしておくことが大切だと思う。ぜひこの機会に確認して欲しい。

今回、被災した数名への取材の中で、家族の話を聞く機会もあった。その中で「この子がいるから自分たちだけでは避難できないし」という言葉を多く聞き、とても心が痛んだ。家族に悪気はないと思うが、障害を持つ側にとってこの言葉は深く傷つく言葉だろう。街のバリアフリー化や福祉機器の進歩で日常生活では不便を感じるものが少なくなっている分、予期せぬこの災害では、ものをなくした喪失感もとても大きいと思うが、それ以上にハンディを持つ自分についてもまた深く考えたのではないだろうか。この現状は、社会の仕組みの不備だと思うが、そう思えない人にとって心の傷にならなければいいのだけれど。こんな思い、経験をできるだけしなくてすむよう、行政の取り組みはもちろん、地域でも自分たちの問題として考えていかなければならない。

.....

●名古屋市は、来年度の整備を目指し「災害情報収集伝達システム整備調査専門委員会」を開催中。第1回は、被災状況や防災体制の現状、情報収集伝達の問題点や住民調査等について審議された。この会議は公開(\*1)されており、希望すれば傍聴できる。

概要 <http://www.city.nagoya.jp/kensaku/kensaku.html>

(\*1)名古屋市は、昨年10月制定した「情報公開条例」で、審議会等の会議の公開を始めている。対象会議の一覧表・会議開催のお知らせ・会議結果は、市ホームページや市民情報センター、区役所情報・相談コーナー（会議結果を除く）で見ることができる。

●愛知県は、本年5月の「防災会議」に向け、「災害対策懇話会」の提言を受け、「水害対策検討委員会」で具体的な検討を進めている。

# もうすぐ春ですねえ！引っ越しシーズン到来！！ 部屋を使いやすい環境に整えよう！

引っ越しを考えている方、これから考えようとされる方、部屋を模様替えしたいなあと思っている方、なんとなく動きだしたくなるこのごろですね。  
今回は、特に使いやすい部屋に工夫する場合の注意しておくといいなと思う道具をとりあげてみました。

## 模様替えや、引っ越しをするとき



室内を点検してみましょう。引っ越しなど新しい環境では目先のものに関心が行き、日常的に使用する道具は見落としがちです。自分でできることが増えれば、より充実した生活となります。毎日よく使う道具を思い出してみましょう。

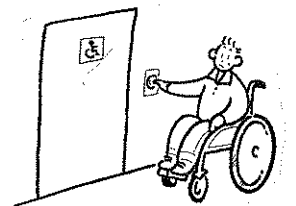
## 住宅に関連した道具

あげてみると色々あります。その中でも工夫がしやすいものをあげてみました。一緒に家の中を見回してみましょう。チェックシートにしてみました。自分で自由に使えるかどうかチェックして下さい。

### ●まず、チェックしてみましょう！

全部が使える→A 半分は使えている→B 使ったことがない→C

| 家の中にあるもの | チェック | 家の中にあるもの | チェック |
|----------|------|----------|------|
| リモコン類    |      | 収納棚      |      |
| 水栓金具     |      | 冷蔵庫      |      |
| ドアの取手    |      | 洗濯機      |      |
| 手すり      |      | コンセント    |      |
| 敷居       |      | スイッチ     |      |
| カーテン     |      | 電話       |      |



### ●結果診断

- ・全部Aの人 → 大丈夫。家の中の道具については、工夫の必要はありません。
- ・Aが多い人 → もう少し工夫してみましょう。
- ・Bが多い人 → 使えていない道具を調べて工夫してみましょう。
- ・Cが多い人 → 残念ながら家の中で自由になるスペースが少ないようです。

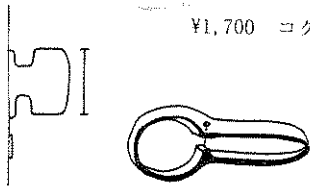
## ●ドアの工夫

\*①、②、④、⑤ともにドア本体との関係があるので、鍵だけを変えることはできない。

### ①ドアノブ用引き手

(ノブ径48 mm ~ 52 mmに対応)

¥1,700 コクヨ株式会社



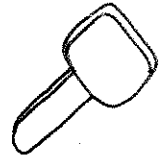
### ②プッシュプルハンドル



### ③レバーハンドル



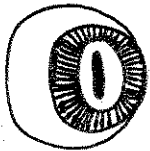
④表裏どちらでもさしこめる施錠できる鍵



### ⑤ノブ

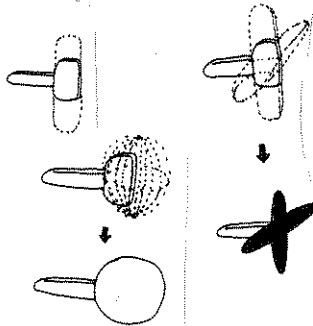
・鍵穴がすりばち状になっているため鍵がさしこみやすい

・鍵穴周囲に夜光樹脂で夜間鍵穴が見やすくなっている



### ⑥鍵のつまみ

・つまむ力に合わせて形状をかえるとよい。



### ⑦電気式リモコンシステム (配線工事不要)

・1回のボタン操作で施錠が可能  
・受光部の「ピッ」という音で施錠が確認できる。

### ⑧100ボルト式電気錠システム (配線工事必要)

・室内外からボタンひとつで施錠が可能

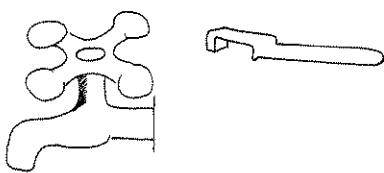
## ●水栓金具の工夫

### ①クリスタルタップターナー

¥5,000 KK 大阪西川

・サイズ(長さ×幅×高さ)

190~225×35×50 mm 重さ112g



### ②アクリル板を利用

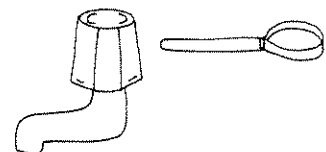
・アクリル板を必要な長さで切り、二つに折って既存のレバーハンドルにかぶせる。

・アクリルは、熱加工がしやすい素材で、専用の接着材で接着も可能。



### ③市販のふたをあけるための道具を利用

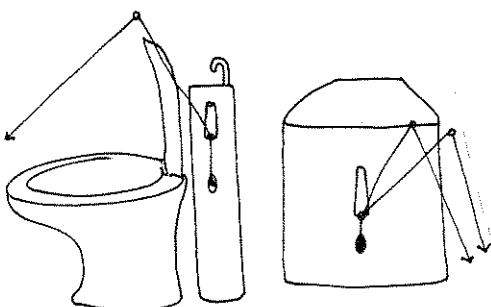
・このとき水栓金具にクッション性のある布や薄いゴムをまいてぴったりとおさえるよう工夫しましょう。



## ●トイレの水洗レバーの工夫

### ①ひもとおもりで工夫トイレ

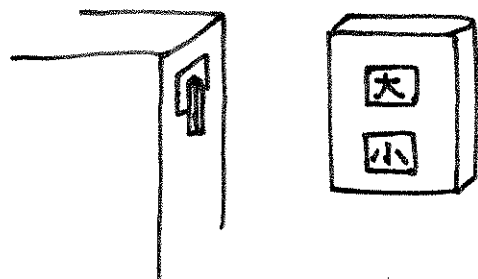
・トイレのレバーにひもとおもりをつけて適当なところでひっかかりをつけると、引っ張る方向をかえることができます。



### ②リモコン便器操作ユニット TOTO ¥15,000

・リモコンサイズ(幅×奥行き×高さ) 70×29×110 mm

・駆動部サイズ(幅×奥行き×高さ) 70×80×106 mm





# 福祉用具のリサイクル情報 (01/1/31現在)

欲しいもの、不要なものありませんか？リサイクルの輪を広げよう！

◆A J U自立の家は、なごや福祉用具プラザの中で、福祉用具のリサイクル品相談とコーディネート、福祉用具の販売、自立生活情報の提供をしています。

## ◆譲りますよ！

\*金額の記述のないものは無料

### ベッド、床周り品

- ◇ 木製ベッド
- ◇ モーターベッド（電動リラックスベッド） ..... 9年使用
- ◇ 寝返り支援ベッド（4モーターベッド） ..... ￥100,000 約1年使用 京都の方です
- ◇ 子供用ギャッチベッド ..... 5年使用
- ◇ エアーマット ..... ￥20,000 ..... 半年くらい使用
- ◇ 床ずれ予防マット（健康マットやすらぎソフトタブ） ..... ￥15,000 ..... 数回使用

### 移動用品

- ◇ 介助用車いす（ウイングシリーズ） ..... ￥20,000 ..... 1年使用
- ◇ ストレッチャー型車いす（子供用） ..... 6年使用
- ◇ 室内用電動リフト付車いす
- ◇ シルバーカー
- ◇ 電動三輪車・四輪車 ..... ￥50,000 ..... 1年使用
- ◇ 電動車いす（室内用電動車いすS-SMART） ..... ￥100,000 ..... 1年使用

### 入浴用品

- ◇ 子供用入浴用チェア ..... 数回使用
- ◇ シャワーいす
- ◇ 背もたれ付きシャワーイス ..... 2～3回使用
- ◇ シャワーいす（安寿シャワーチェアCP） ..... ￥1,000
- ◇ 浴槽台 ..... ￥1,500

### トイレ用品

- ◇ ポータブルトイレ（手すりと背付き） ..... 数回使用 3つ
- ◇ 家具調ポータブルトイレヒーター付き ..... ￥40,000 ..... 未使用
- ◇ スカットクリーン女性用 ..... ￥10,000 ..... 1年使用

### その他

- ◇ 小型シール鉛蓄電池及び専用充電器 ポータブル人工呼吸器に使用 ..... 2年使用
- ◇ 吸入器（ミリコンネブライザ）
- ◇ 吸入器（コンプレッサー式吸入器 NE-C13） ..... ￥10,000 ..... 1～2ヶ月使用
- ◇ 透析液加温器
- ◇ スロープ（手作りの檜スロープで、30cmの段差に対応） ..... 1年弱使用
- ◇ 折りたたみ携帯用スロープ（デクパックシニア1650） ..... ￥20,000 ..... 1年使用
- ◇ マッサージ機（リクライニング式マッサージ）

「譲って」欲しい方、「譲りたい!」という方、ぜひご連絡下さい。  
 A J Uリサイクル相談事業部 TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159  
 ホームページでもみることができます。http://www.ipc-tokai.or.jp/aju/  
 毎週金曜日の朝日新聞（朝刊）でも、リサイクル情報が掲載されています。

# 世界初録音

堤 剋喜

確かこのあたりにあったはずだけど。また売場の配置換えしたのか。  
“DVDコーナー拡充”のあおりで、クラシックCDの棚のある場所がわからない。  
店内を半周する。

何だこんなところか。隅に追いやられたって感じだねえ・・・

なかの一枚に、こんな宣伝文句。

“『フィンランディア』オリジナル版を含む『カレリア』世界初録音”

オリジナル版か。ピアノ独奏による『フィンランディア』やパイプオルガンによる『フィンランディア』、弦楽抜きのブラスバンドだけの演奏も聴いたことがあるし、いつだったか“シベリウスの大曲『交響詩フィンランディア』をギター化!”と銘打ったLPレコードも見かけた。しかし、オリジナル版というのは・・・知らなかった。

世界初録音と書いてあることだし、ひとつ聴いてみよう。

初物につられるのは危険かな。

けれども、まあ彼の作品なら、買っても大外れはなからう。

まず『フィンランディア』オリジナル版から聴いてみた。

前半は、今ふつうに演奏されている決定版と変わらないように聞こえる。

中盤、決定版では弦楽合奏だけになるところからフィナーレにかけて。

弦楽器の音もでていないか。フィナーレの部分が軽くて長い。

初演後、オリジナル版から、弦楽の譜面を40秒ぶんくらいバツサリ削り、フィナーレをコンパクトかつ重厚なものに作り替えて、決定版ができたようだ。

譜面上の音符の数はオリジナル版の方が多いかもしれない。

でも、メリハリの点では決定版の勝ちかな

『カレリア』のほかの部分はどうと・・・

世界初録音なんだから、初めて耳にするメロディーの連続だろうと思いきや。

曲風がシベリウスらしいどころではない。

主旋律のほとんどは『カレリア序曲』、『カレリア組曲』、

『歴史的情景組曲第一』、『同第2』のなかで、聞き覚えがあった。

『カレリア序曲』と『カレリア組曲』は代表作だ。

うけのいい管弦楽曲で、演奏回数も多い。

その原型になった曲が今頃になって世界初録音か。

クラシックの作品といっても、作られていく時点では、

演奏家、指揮者、コンサートのスポンサーから聴衆までみんな作曲家と同時代人。

作曲家が「これは習作だから演目に加えてもらっては困る」と断ることもあるだろう。

「『カレリア』をオリジナル版で演奏するとなると、オーケストラに加えて、

混声合唱団と独唱者を二人手配しなきゃならん。

『カレリア組曲』ならオーケストラだけで演奏できて、長さも手頃だ」

という指揮者もいるだろう。

それに、苦勞して合唱団をつれてきても、大合唱するのは『フィンランド国歌』だけ。

カレリアは、帰属をめぐる戦争の結果、今はロシア領になっている地方名だ。

作品の題名だけでも政治的な印象のあるところへ、自国の国歌そのものを挿入してある。

荒っぽいたとえで、あくまでも仮の話だけれど、

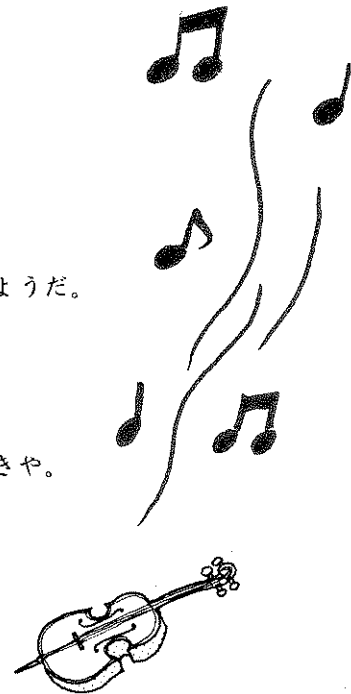
日本人の作曲家が『君が代』を織り込み、『交響曲国後(くなしり)』を書いたようなもの。

今時だからこそその世界初録音、と解説を読まないうちに納得した。

あるホームページに「フィンランディアのMIDIファイル」というのが公開されていた。

コメント曰く、『クラシックとか民謡とか著作権が関係なさそうなものを作ってみました』この予想とは裏腹に、シベリウスの著作権は2007年まで有効のはず。

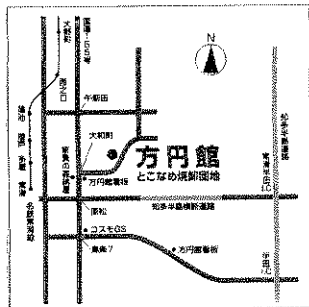
初期の作品は19世紀に作られているから、その著作権は3つの世紀をまたぐ。



Nさんより

「常滑焼体験へ行ってきました」

友人と常滑焼体験工房「方円館」<sup>ほうえんかん</sup>へ行ってきました。一階と二階に工房部屋があり、一階の20人ほど入れる部屋は車いすでも入りやすくなっています。手作りやロクロ、絵付けなど体験コース（要予約）もいろいろありましたよ。方円館は、知多半島随一の規模、品揃えを誇る陶磁器総合ショッピングゾーンの「とこなめ焼御園地（セラモール）」（5万㎡）の中にあり、常滑焼きの店やレストランなどが並び、観光客でにぎわっています。身障者用トイレは常滑焼き組合の建物内と駐車場にあります。



- ・ロクロコース3,500円
- ・手作りコース2,500円
- ・彫り・絵付けコース  
急須1,800円など
- ・作陶フルコース  
(8回に分けての体験)

営業時間：10:00～17:00  
木曜定休

場所：常滑市金山字上砂原123  
とこなめ焼御園地内

TEL0569-43-7101 FAX0569-43-7104

Mさんより

「リトルワールドが障害者に利用

しやすくなりました。」

私が関わりを持っている愛知県おもちゃ図書館連絡協議会の10周年記念イベントを、昨年の8月に、犬山のリトルワールドで開催しました。

開催をするに当たり、まず広い館内のトイレの点検から始め、1年をかけた話し合いの結果、2ヶ所の車いす用トイレが増設され計4ヶ所になりました。また、和式のみ所は1基が洋式に取り替えられ使い勝手がよくなりました。

階段横にはスロープが取り付けられて、車いすの移動が楽になりました。

当日、ボランティアや保護者を含め1000人の仲間が集い、一般客もかなりの入場がありました。支障無く楽しい一日を過ごしました。

なお、園内周遊バスに福祉車輛の導入も考えて頂けるよう話をしておりますが、利用者の増加（入館者）をみてとのことで、皆さんが出かけて行ってドンドンと要望を出していくことが大切かと思えます。

場所：愛知県犬山市今井成沢90-48

TEL (0568) 62-5611 FAX (0568) 61-2090

西区のYさんより

昨年11月に、上小田井のジャスコワンダーシティ店横にオープンした「イオンシネマ・ワンダー」<sup>イオンシネマワンダー</sup>に行ってきた。正面玄関前に身障者用駐車スペースが4台分。入り口は段差なく自動扉。映画館は2階なのでエレベータで移動します。ここは10スクリーンあり、全席指定で、各シネマには車いすに座ったまま見るスペースが最前列に2席、飲み物などがセットになった「AC CLUB SCREEN」は1席。ただ、最前列はスクリーンを見上げることになるので首が痛くなりそう。私は車いす利用ではないのでそこには座っていませんが、他の映画館も車いす席は見にくい最前列が多いですね。スロープで中段ぐらまで移動できるシネマもあるので、チケット購入時に相談されるといいかもしれません。車いすトイレは各階1ヶ所ありました。またこの施設には他に、エスプレッソで有名なスターバックスなどの飲食店5件と、ゲームセンター、ジーンズ&カジュアルショップRIGHT ON、家電のエイデンが入店。隣接するワンダーシティと併せて、ここだけで1日楽しく過ごせますよ。

場所：名古屋市西区二方町47番

アクセス：地下鉄・名鉄上小田井駅  
(エレベータあり)下車700m

24時間TEL&FAX案内 052-509-1800

ホームページ：<http://www.aeoncinema.co.jp/>

料金：一般1,800円/学生1,500円

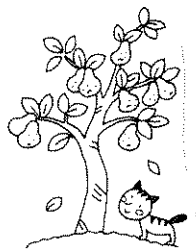
小・中学生1,000円

AC CLUB SCREEN (1フード、1ドリンク付  
2,500円)

\*障害者手帳提示で、本人及び介助者1名  
まで1,000円

昭和区Yさんより

情報誌を見て「ジョンさんの木登り体験」に参加してきました。その日は、参加者が多くて登ることはできませんでしたが、車いすの人が登っているのを見て感激しました。腰とお尻のところはベルトをつけて、周りに何本か紐があつて、インストラクターの人とそれぞれ登っていました。今度行ったときは、ぜひ登りたいです。今回は、イベントだったので、他にクラフト体験があつたり、お昼は豚汁と五平餅を作って食べました。ジョンさんやスタッフの人達がとても親切で、とても楽しかったです。



## 名東区の田中さんより 「戸山サンライズに泊まって」

皆さんは、戸山サンライズに泊まったことありますか？私は5、6年ぶりに養護学校の同窓会を兼ねた忘年会が戸山サンライズで開かれたのを機会に、一泊してきました。

聞くとところによると、一年前から経営方針が変わったそうですが、大浴場の洗い場、浴槽が新しく張り替えられてありました。部屋は今まで夜10時が過ぎると暖房が切られて、ベッドの電気毛布だけで暖を取らざるを得なかったのが、夜通し暖かい部屋で気持ちよく寝ることが出来ました。暖房がききすぎて口が渇くくらいでした。ビール好きの人にはちょうど良い暖かさなのかなあ。

今まで部屋に置いてなかった歯ブラシ、タオル、石鹸があってビックリしました。別料金だったコーヒーも朝食（バイキング形式）のメニューに入っていて、とてもおいしく味わってきました。

行ったときにはまだ工事をする人が慌ただしく作業してましたので、皆さんが行かれる頃には、一段ときれいに化粧直しされているかもしれません。料金的にもとてもお値打ちに感じるかも知れませんよ。

場 所：東京都新宿区戸山1丁目22番1号  
TEL03-3204-3611 FAX03-3232-3621

宿泊代：障害者4,500円、一般6,000円、朝食800円

交 通：都バス 宿74・新宿駅西口発東京女子医大  
行き戸山町下車100m（低床バスも運行）  
タクシー 山手線高田馬場駅よりタクシーで10分弱

### 「犬山駅のエレベータを調べて下さい」

名鉄犬山線「犬山駅」のコンコース東出口、西出口の一階へ通じる部分でエレベーター工事をしている噂を聞きました。名鉄に聞いたのですが、市の管轄とのこと。いつ頃使えるか調べて下さい。

### 編集部より

犬山駅は高架駅で、これまで行き先によっては遮断機のある線路を渡って反対側ホームへ行くという大回りをしていましたが、今回、東口にエレベータが着くことで、そのエレベータと元々あった西口の駅ビル内のエレベータを使うことで、線路を渡らず以前より短い距離でホームへ向かうことが可能になります。（完成は3月末頃）

ただ残念なことに、このエレベーターでは改札からホームへは行けないので、車いす利用者が電車に乗る場合は、今まで通り事前に駅へ連絡し、西または、東の車いす通用口を駅員にあけてもらっ

てから乗ることになります。改札からホームまでエレベーターは付かないのか聞いてみると、「ホームが3つ有り構造的にも難しく、3機も付ける予算が無いので」と言われました。今取り付け工事をしている東口エレベーターの管轄は犬山市なので市役所にも言ってみました、「名鉄の管轄なので名鉄に言って下さい。」という回答でした。縦割り状態ではなく、せつかく作るならば市と名鉄と市民で話し合い、使いやすい駅を作してほしいものです。

### 西区のTさんより

1996年に出版された「脊髄損傷者のための性と出産のガイドブック」をご存知でしょうか？脊髄損傷であるがゆえの性の悩みを、専門医の方々が分かりやすくまとめた本です。機能的な面や心理的な面まで、どのように受け入れ改善していくかを各項目別で説明しています。当事者の質問にQ&A方式でも解説しています。

問い合わせ先：(株)三輪書店

東京都文京区本郷6-17-9 定価2,000円

TEL (03) 3816-7796 FAX (03) 3816-7756

### 養護学校の学生さんより

校外学習でパノラマハウスに行くことを決定した後、ある生徒が下見に行きました。車いすでは景色が見にくいことが分かり、どうしようかと悩んでいたところ、福祉情報誌をクラスの友達が学校に持ってきて見せてくれました。その時、第46号の『ジェイアール名古屋タカシマヤ』の記事を読んで、これは使える！と思いました。やはり見晴らしが良くないことは書いてありましたが、私たちは諦めきれずに記事を読みました。そこには、「パノラマカフェ」の紹介がありました。リフトがあると書いてあったので、早速電話を入れてみました。メニューなども聞き、そこで軽く昼食をとることに決めました。この記事がなかったら、私たちはパノラマハウスに行くのを諦めていたかも知れません。情報誌には本当に感謝です。

### お便りありがとうございました

引き続き、お便り・情報をお待ちしています  
〒466-0015 昭和三区御器所通3-12-1 3F  
AJU福祉情報誌編集部宛  
TEL052-851-0059 FAX052-851-0159  
Eメール：aju-inc@pop21.odn.ne.jp

## ■ヤマハのJW-1をリモコンで積み込める車が登場!

三菱自動車「ランサーセディア」  
ハーティラン セルフトランスポート仕様車  
運転席に乗り込んだ後、リモコン操作でJW-1  
(電動ユニット)付き車いすを後部座席へ格納できる“車いす用全自動ローダー”を搭載。今までこのタイプの車いす格納装置は、20kg弱の車いすにしか対応していなかったもので、これで電動ユニット利用者の行動範囲がもっと広がりそう。ただ、JW-1のバッテリーの位置を前に移設(5,000円程)する必要があるので、詳しくは、全国のギャラン系販売会社、カープラザ販売会社へ。他に、車いすから乗降しやすいように運転席のシート位置が70度回転し、16cm前へスライドする機能も付いている。

値段:車いす用全自動ローダーと運転席  
回転シート等で80万円(車両価格は別) /  
回転シートなしの場合、65万5000円  
\*車両価格は地域で異なり、名古屋は123  
万8000円~

<http://heartyrun.com/content/prdct/lan/index.html>  
名古屋三菱自動車販売(株)  
名古屋市中区新栄1-1-31  
Tel.052-251-6111 Fax.052-251-2379

## ■“ジョイスティックで操作する 運転システム”

電動車いすTAOのメーカー“アイシン精機”  
が、自動車を片手で運転できるシステムを研究開発中。ジョイスティックを改造し、加速・減速はスティックを前後に動かす操作で、左右にハンドルを切る動きは装置を手元で回転させて行う。このシステムは、スティックの操作を電気信号に変えて、アクセルやブレーキ、ハンドル回転を行うもの。微妙な操作が要求される低速時は、手元で大きな動きをしても車がゆっくり動くよう制御した結果、曲がりくねった試験コースを加速、減速して走らせても、きちんとコースに沿った運転ができたという。課題は、路面のデコボコなどの状況をどう運転者に伝えるかの対応。より高度な制御や、先行車との車間や道路に沿って走ることを目的にしたITS(高度道路交通システム)の技術を使うことで、課題の解決につながるとのこと。

問い合わせ:TEL0566-24-8441

## ■レバー1本で運転できる電気自動車が 開発された!

産業用ロボットなどを製造しているキシ・エンジニアリング(島根県出雲市)が、介助なしで車いすのまま乗降可能で、片手で運転できる小型電気自動車を開発した。今年の夏発売予定。四輪車で車底が地上5mmまでさがり、後方から車いすのまま乗車して、小型スティック1本で運転できる。

車体:全長2.2m/幅1m/高1.6m  
重量250kg

最高時速:20km/h

走行距離:家庭コンセントからバッテリーをフル充電(8時間)すれば、連続45kmの走行が可能。一回の充電にかかる電気代は約100円。

注文生産:価格は百万円前後になる見通し

問い合わせ:島根県出雲市里方町893-5

TEL0853-23-6383 FAX0853-23-7367

## ■福祉タクシーをホームページで紹介

中部運輸局は1月25日から、福祉車両を保有している管内(愛知、静岡、岐阜、三重、福井、石川、富山)の事業者一覧紹介をインターネットで始めた。管内では現在、109業者が231台を所有している。ホームページでは、会社名や所在地、電話番号、保有台数などが一覧表になっている。  
<http://www.motnet.go.jp/chubu/fukusita.htm>

## ■インターネットで全国の 中古福祉車両の情報が 見られる!

クルマ情報サイトGoonetのホームページで、メーカー別福祉車両の中古車情報が検索できます。まだ台数は少ないけれど、購入などの目安になりそうです。福祉車両のタイプ紹介や税制優遇措置の情報もあります。<http://goo-net.com/>

## ■トイレ研究会よりお願い

アンケートへのご協力ありがとうございました。現在約250通が手元に届いており、集計作業に入るところです。ただ、締め切りは過ぎていますがまだ間に合いますので、お手元にアンケートがある方は、ぜひご返送下さい。



## ■「ガイドウェイバス」計画は、 交通バリアフリー法の精神に反する！

ガイドウェイバスとは、案内車輪をつけたバスが高架の専用軌道(ガイドウェイ)を走る新交通システム。全国に先駆け、名古屋で3月23日に開業予定。路線は下記のように決まっており、「大曾根-小幡緑地」間は専用の高架を走り、「小幡緑地-中志段味」間は路上(道路)を走る。これまで渋滞時には48分もかかっていた「大曾根-中志段味」間を28分で結ぶことになる。ただ、バリアフリー法成立後の開業であるにもかかわらず、車両25台中、リフト付車両は7台という現状。この状況に対し、市内の障害者団体が「交通弱者の利用に目を向けない事業への補助金は不当だ」として、住民監査請求を市の監査委員に出している。

路線：大曾根-ナゴヤドーム前矢田-砂田橋-守山-守山市民病院-川宮-川村-白沢溪谷-小幡緑地-竜泉寺口-竜泉寺-吉根口-下島-吉根-上島-西小学校前-荒田-天王橋-志段味支所前-中志段味

車両：25台(内7台がリフト付車両)

時間：7~9時のラッシュ時は3分間隔、通常は10分間隔(たまに15分間隔もある)現段階では、リフト付車両は、約30分に1本となる  
料金：200~420円(まだ申請中)名古屋市の福祉乗車券や敬老パスについては、利用できるようにという誓願が採択されており、あとは市議会の最終判断を待っている現状。支払いは、入口で整理券を取り、降りるとき整理券の番号の示す金額を払うというシステム。

駅設備(専用高架路線)：全駅にエレベータと身障者用トイレあり

停留所(路上路線)：リフト付車両の乗降をスムーズにするための歩道整備は、まだ小幡緑地から西小学校までしか完了していない。それ以外の停留所の乗降は当面車道となる。(とてもこわい)

## ■介護保険関連

### ◎介護タクシー

要介護認定を受けた人が、訪問介護事業者(ホームヘルパー派遣の事業者)の指定を受けたタクシー会社に通院等の介助を依頼すると、通常の運



賃部分の請求はなく、介護報酬の1割負担で利用できるというもの。たとえば、30分未満の場合、介護報酬は2100円なので、利用者は210円の自己負担済む。介護時間に移動中の時間は含まれない。二種免許と訪問介護事業者の登録が必要なため、現在東海地方では、2者のみ運行を始めている。

★名古屋のつばめグループ(都市交通名古屋)

TEL052-991-0119 FAX052-915-6695

★岐阜県国府町の宮川タクシー

TEL/FAX 0577-72-2070

## ◎医療費控除の対象になる医療費に、 介護保険の在宅サービスが追加された

医療費控除とは、自分や生計を共にしている家族のために支払った医療費が、年間10万円または、所得金額の5%を越えたときに、一定の金額の所得控除を受けることができるというもの。

医療費控除の説明ホームページ

<http://www.marimo.or.jp/~momo/iryokoujo.html>

### ~対象とされたサービス~

○自己負担の全額対象

\*ケアプランに入っていることが前提  
訪問看護/訪問リハビリテーション/居宅療養  
管理訪問介護事業者理指導/通所リハビリテーション/短期入所療養介護

○負担する費用の1割

訪問介護/訪問入浴介護/通所介護/短期入所  
生活介護

○自己負担分の半額が対象

老人保健施設/介護療養型医療施設/特別養護  
老人ホーム

下記ホームページでもみることが出来ます。

<http://www.pref.miyagi.jp/kaigo/jigyou/rouhatu509.htm>

## ■モバイル専門店街

### 「エイデン・コミュニケーションズ」

国内すべての携帯・PHS会社のショップが勢揃い。アフターケアでは、J-フォン、AU、ツーカー、アステルの修理・契約変更ができる。ドコモ、DDIはいずれも不可。携帯でのメール活用術、モバイル端末の操作方法等の相談にも無料で応じてくれるそう。PHSのモバイルインターネットのコーナーもある。

場所：名古屋栄の中日ビルB1F

TEL052-249-7677 FAX 052-249-7774

営業時間：10:00~19:30 不定休





## ■スポーツ大会情報

### ◎第1回全国障害者スポーツ大会の 名古屋市代表選手を募集!



今年は、宮城県の仙台市で10月に開催されます。今まで別々に開催されていた身体障害者と知的障害者の大会が、今年から一緒に開催されることになりました。

競技 陸上競技/フライングディスク/水泳/  
卓球/アーチェリー/ホウリング

と き：平成13年10月27日(土)～29日(月)

\*名古屋市選手団派遣の日程は、10月25日(木)  
～30日(火)の5泊6日を予定

参加資格：身体障害者手帳保持者又は、愛護手帳保持者で、名古屋市内に現住所がある又は、市内の施設に入所、通所、通学している人

受付期間：平成13年2月1日～3月1日まで

申込み

名古屋市スポーツ協会 TEL/FAX 052-703-6066

### ◎第39回名古屋市身体障害者スポーツ 大会、陸上競技の部参加者募集中!

スラロームや60m走、ソフトボール投げ、こん棒投、ビーンバック投など、障害や年齢別に種目があります。この大会での記録は、全国大会(仙台市)に出る選手を選考する際の参考となるので、みなさん奮って参加しましょう!めざせ全国大会!

と き：平成13年5月5日(祝)午前9時受付開始

ところ：瑞穂公園陸上競技場

参加資格：身障手帳保持者で満13歳以上の人

申込先：各区の民生課民生福祉係

締 切：平成13年3月1日

主催：名古屋市・名古屋市障害者スポーツ協会等

### ◎フライングディスク講習会のお知らせ

フリスビーを使う競技です。遠くへ飛ばす種目と、輪の中へ通す種目があります。この競技は、今までは知的障害を持つ人達の種目でしたが、今年の全国大会から身体に障害を持つ人達も参加できることになったそうです。まだ名古屋市の大会では正式種目となっていないため、市の大会とは別に講習会をかねた記録会を行うそうです。そして、この記録会の記録を参考に全国大会の「フライングディスク」選手選考をするので、全国大会に参加したい人は、競技人口も少な

いため狙い目かもしれませんよ。

と き：平成13年4月15日(日)

10:00～15:00(予定)

場 所：瑞穂公園 ラグビー場

参加資格：名古屋市内に在住か、市内の施設や学校に通っている人

申込先：各区の民生課民生福祉係

締め切り：平成13年3月1日

### ◎以上3大会の問い合わせ先

名古屋市スポーツ協会

TEL/FAX 052-703-6066



### ■障害を持つ人や高齢対象の訪問理容店

理容店を経営している廣瀬さんは、お子さんが重度の障害を持っていたため、寝たままの状態でもカットする技術をもっている。担当医に「経験をいかして訪問理容をやってみたら?」とすすめられたことがきっかけ。現在、月に5～6回ほど障害者施設、老人ホーム、個人のお宅へ伺い、カットと顔剃り等をしている。現在は、介助方法の専門知識も身につけようと、ホームヘルパー2級の資格を取得中。「片道2時間ぐらいのお宅にも訪問したことがあるので、気軽に相談して下さい」とのこと。

料 金：3,000円(出張費、カット、顔剃り込)

営業時間：月～金 9:00～18:00

『理容ヒロセ』

昭和区塩付通り4-28 要予約

TEL/FAX 052-712-2021 携帯 090-2772-3487



### ■福祉理美容師会の訪問理美容サービス

障害を持つ人や介助が必要な高齢者の自宅や、福祉施設へ訪問し、髪のカットなどをしてくれるサービス。名古屋市にある「サンローズ美容室」が予約受付の窓口となり、愛知県を対象にの「福祉理美容師会」に入会している美容店や理容店を紹介している。ホームヘルパー2、3級の資格をもっている美容師、理容師が対応している。

・カット2,500円+訪問料・交通費1,000円～

・介助が必要な場合は(寝たきりなど)1,000円

問い合わせ

TEL0120-61-6566 FAX052-302-3678

受付9:00～18:00(月曜定休)

名古屋市中川区下之一色町宮分126



## ■長野県の「ペンシオーネ美し松」に 車いすロード完成

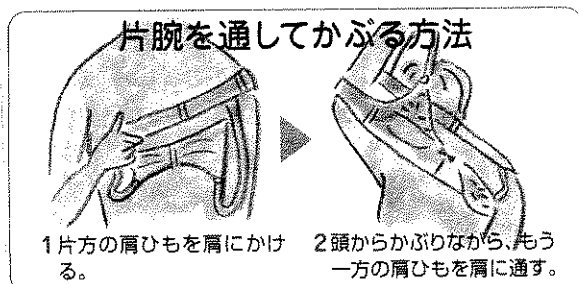
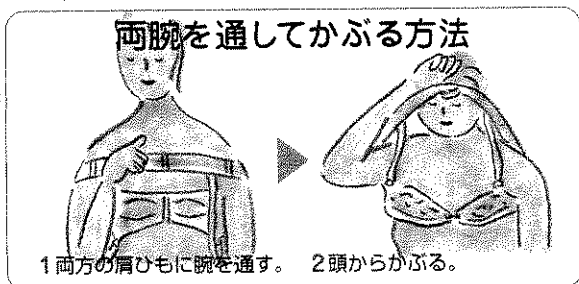
ハンディキャップルームを持つペンション『ペンシオーネ美し松』のコテージが、もっと利用しやすくなった。これまで、本館食堂への移動は砂利道のため、車いすで移動しにくかったが、このほどコンクリートの平板を敷き並べ、車いすロードが完成した。「移動は少し楽になりましたので、またのご利用をおまちしています」とのこと。

場 所：長野県小県郡長門町大門3515  
TEL0268-69-2422 FAX0268-69-2402

## ■ワコールから

### 新しい着脱エイドブラが出た！

以前ご紹介した弱い力でも着脱しやすい前開きタイプに加え、ホックなしのスポーツタイプが2月に新発売。



特徴1. 肩紐を幅広にして、紐の背中付け位置を中央よりにしたことで、肩からのずれ落ちを防止

特徴2. 小さな力でもよくのびる生地を使っているので、かぶっても着脱しやすい

特徴3. 着脱時に生地が丸まりにくい生地を使用

特徴4. ピンクのレースでおしゃれ

特徴5. サイズも増えた。

カップA～C、アンダー70～85

品番：BZE-792

価格：4,200円

購入：ワコール・リマンマ課

名古屋店 TEL052-263-3403 FAX052-263-3402

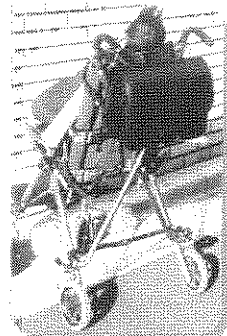
ホームページ

<http://www.wacoal.co.jp/products/aid/>

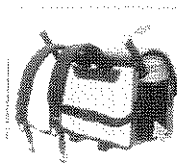
E-mail [reha@wacoal.co.jp](mailto:reha@wacoal.co.jp)

## ■障害を持つ児童用のランドセル

子供に使いやすいランドセルのオーダーに答え  
いるランドセルメーカーの共和が、障害を持つ子  
供の親の要望にも応えようと、4種類の基本モデ  
ルランドセルを元に、



障害児の状況に合うよ  
うにフルオーダーで制  
作している。軽量で車  
いすなどかけられる  
横型、通常のリュック  
型などがあり価格は2  
～3万円ほど。遠方の  
人用にはオーダーシ  
ートがあり、必要な寸法  
を記入し、使用者の全  
身写真を添えて送れば、  
連絡を取り合いながら作成することが可能。ただ、  
現在注文が多く、今注文しても今年の入学式には  
間に合わないとのこと。



オリビエランドセル研究室

場 所：東京都千代田区東神田 2-10-16

TEL03-3866-7478 FAX03-3866-8932

<http://www.kyowa-bag.co.jp>

## ■本のご紹介

### ◎「知っておきたい医療サービス

#### —あなたが患者になるまえに—

病気の治療を、医師や医療機関に任せきりにしていませんか？この本は、医療機関の選び方や検査の注意点、入院から退院の流れや医療保険制度の仕組み、助成制度など、患者が医療に参加するために必要な、医療サービスの知識や心得を紹介している。

問い合わせ先：

(社)全国消費生活相談員協会販売係

〒108-8566 東京都港区高輪3-13-22

国民英剣センタービル内 定価600円

TEL(03)3448-9736(代) FAX(03)3448-9830

<http://www.zenso.or.jp/>

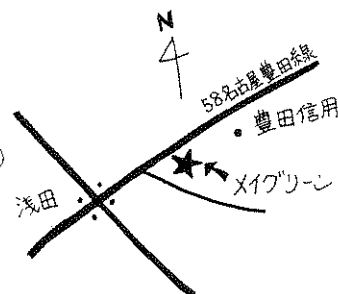


## グルメな調査隊 第14弾 ~東郷町の菊地さんより

**店名** 洋風懐石メイグリーン

**住所** 日進市浅田町平池112-3 TEL052-807-2555 FAX052-807-2228

★営業時間  
 ランチタイム 11:30~14:00  
 ティータイム 14:00~17:30  
 デイナータイム 17:30~20:00  
 月曜定休(祝日の場合は火曜定休)



★食のジャンル 洋食

★店内の様子 段差なし/テーブル席(いす移動可)/洋式トイレ(手すりなし)

★おすすめポイント&メニュー

チェコスロバキア料理を主体としているよ。パーティーのできる個室もある。

★駐車場 一般駐車場あり

★情報誌サポート倶楽部のみなさんへの特典

今回お店のご好意で、サポート倶楽部会員の皆さま限定のサービスを用意していただきました。

特典: カード提示で、ランチタイムとディナータイムに5名様までグラスワイン又はソフトドリンクをお一人様1杯サービスずつサービス。期間は4月20日迄

情報ありがとうございました。引き続き読者のみなさん、お気に入りのお店を教えてください。  
 調査票が手元にない方は、編集部の方までご連絡ください。TEL052-851-0059 FAX052-851-0159

## ..... お宿の案内 第2弾 .....

1年で一番寒い季節、2月。少しでも暖かいところで、しばし日常から離れて見ませんか。

# サンペルラ志摩

場所: 三重県志摩郡磯部町の矢314 TEL0599-57-2130 FAX0599-57-2131

的矢湾入り江の高台にあり、部屋・大浴場・ラウンジ・レストラン、どこに居ても夜は灯台の灯り朝は水平線から昇る太陽を眺めることができるというナイスロケーション。心身ともにリラックスできるそんな宿でゆっくりくつろいで下さい。

### ◎ハンディキャップルーム.....

洋ツイン1室。入り口は間口の広い引き戸。浴室とトイレは、部屋の中から繋がる(引き戸、内鍵あり)隣接の身障者専用浴室を利用。部屋全体はかなり広く、電動での方向転換も充分余裕がある。

### ◎身障者専用浴室.....

洗面場(角度のある鏡)・車いす用トイレ・浴室がある。鍵あり。(残念ながら、ここは温泉ではありません)

### ◎館内の移動.....

玄関、ラウンジ、食堂、各フロア段差なし。身障者用エレベーターあり。

### ◎大浴場.....

アルカリ性単純温泉。入口から脱衣場、大浴場、露天風呂までは段差なし。湯舟に入るところに13cmの段差があるが手すりあり。洗い場には座面高30cmの風呂椅子あり。大浴場は基本的に貸切不可。

### ◎食事.....

夕・朝食ともレストラン。(椅子移動可能)夕食メニューは伊勢志摩の新鮮な魚介類を使った会席料理。朝はサラダバー付きの和食。

### ◎料金.....1泊2食付き

11,500円(平日、税・サ別)~

### ◎身障用トイレ...共用部分に2ヶ所

### ◎身障用駐車場...1ヶ所

### ◎貸出車いす.....1台

### ◎アクセス.....

鉄道の場合: 近鉄志摩線「志摩磯部駅」下車 タクシーで約15分(志摩磯部駅まで送迎あり。但し予約制)

車の場合: 伊勢自動車道 伊勢西ICより伊勢道路経由、磯部町へ。(伊勢西ICより約40分)又はパールロード的矢出口より5分

### ◎最寄りの観光施設.....

志摩スペイン村(車で5分)、伊勢神宮内宮(車で40分)、鳥羽水族館(車で40分) etc



★特典 情報誌サポート倶楽部の方は、カード提示で、夕食時にグラスワイン又はソフトドリンク 1杯サービス。期間は2月20日~4月20日迄

## 購読料値上げのお願い

いつもご購入いただき心より御礼申し上げます。情報誌は1992年に自分たちの持っている情報をより多くの人に伝え、障害者といえども情報不足で選択肢が狭くならないようにという目的で発行を始めました。創刊以来、無料配布を行ってまいりましたが、諸経費の負担が大きくなり1994年に有料化に踏み切らせていただきました。有料化以降も編集委員は相変わらずの手弁当で取材活動を続けてまいりましたが、経費負担も増加し、各編集委員の自らの出費も限界となりました。しかし、アンケートで購読者の皆様のご要望されましたように、取材費の助成を行ってでも内容のレベルを上げ、紙面のレイアウトなども更に読み易くしたいと思っています。この様に福祉情報誌をさらに充実していくためにも購読料の値上げを致したく、ご理解の程よろしくお願い致します。今後とも皆様のご要望に出来るべく編集委員一同、更なる努力を重ね内容の充実に努めてまいりますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 平成13年度分の購読料(1,500円)振り込みのお願い

ぜひ、引き続きご購入をお願いします。つきましては、封筒の皆様の宛名近くに「購読料支払済み年度」を書かせていただいています。それをお確かめいただき、同封の郵便振込用紙にて継続をお願いいたします。(購読料：年間1,500円)尚、すでに13年度分をお振り込みいただいている皆さまには、お手数ですが値上げ分(500円)の振込をお願いいたします。

(郵便振替) 口座：00890-0-90573

加入者名：福祉情報誌発行委員会

\*通信欄に、何年度分の購読料の入金かと、情報誌への感想、皆さまの近況などをぜひご記入下さい。

## 情報誌サポート倶楽部について

75名の皆さま、ご登録ありがとうございました。これから随時みなさんの持っている情報を収集させていただきたいと思っております。今回は、「グルメなお店」と「お宿情報」で掲載したお店に前回同封したメンバーズカードを提示すると利用できる“倶楽部会員”さん限定のサービス(P34)をお願いしました。ぜひご利用下さい。

## 新年度のモニター大募集!!

読者モニターを10名新たに募集します。FAXやE-MAILや郵送で、2ヶ月に1度アンケートにお答えいただくだけです。お礼はなんと、購読料1年分が無料になります。申し込みは編集部まで  
TEL052-851-0059  
FAX052-851-0159



## 生活の道具相談室 JIA住まいの相談

<相談日>

2月17日、3月3日、17日

\*いづれも土曜日の午後1:30~

<場所>

名古屋市昭和区恵方町2-15  
AJU自立の家サマリアハウス  
※事前に電話連絡いただくこと  
相談がスムーズです。

<事務局>

TEL052-841-5554

FAX052-841-2221 淺井まで



## 編集後記

1月17日未明阪神・淡路大震災が起こった。日本中が救援に立ち上がった。今から6年前のことである。昨年9月に私たちの地域を集中豪雨が襲い、大変大きな被害をもたらした。その時我々の仲間は窮地に陥っていた。この水害で被災した人々を救ったのはいったい誰だろうか。阪神・淡路大震災以後、災害対策を多くの有識者が検討に検討を重ね各地域で防災計画が作られた。しかし、障害を持った人たちの事を考えて作られていたのだろうか。有識者も必要だが当事者(障害者)が検討会に参加してない災害支援計画が果たして障害者の命を救えるものになるのだろうか。とかく日本人は「喉もと過ぎれば熱さ忘れ」過ぎたことは過ぎたこととして済ませてしまう。人は忘れることのできる動物である。忘れることで進化してきたとも思える。だが、人それぞれに忘れてはいけないことがあると思う。6年前の体験が生かされない昨今では当事者が強く主張する事が必要です。私たちは、決して歴史を風化させてはならないのである。 鬼頭